

**千葉県立美術館 年報 No.44 平成29年度**

*April 2017 – March 2018*

*Annual Bulletin of Chiba Prefectural Museum of Art*



# 目 次

ごあいさつ .....	1
沿革 .....	2
平成29年度主要記事 .....	4
展示事業	
1 アート・コレクション展 .....	6
2 特別展 .....	16
3 千葉県移動美術館 .....	20
普及事業	
1 特別展関連事業 .....	22
2 ワークショップ .....	23
3 実技講座 .....	24
4 博学連携事業 .....	25
5 地域連携事業 .....	27
6 活動協力など .....	27
7 情報資料室 .....	28
調査・収集事業	
1 平成29年度貸出資料一覧 .....	30
2 平成29年度新収蔵資料一覧 .....	30
3 平成29年度収蔵資料数一覧 .....	31
管理運営	
1 組織 .....	34
2 平成29年度職員 .....	34
3 平成29年度利用状況 .....	35
4 平成29年度利用案内 .....	38
5 施設 .....	39



## ご あ い さ つ

千葉県立美術館は、昭和49年の開館以来、地域美術館及び近代美術館としての活動を通し、県民の皆様の様々な美術に対する要望にお応えできるよう努めているところですが、このたび、平成29年度の活動を取りまとめた「年報No.44」を刊行いたします。

平成29年度は、特別展「立体造形の現在・過去・未来－The フィギュア in チバー」を7月22日から9月24日までの65日間にわたって開催し、多古町コミュニティプラザを会場に移動美術館を実施しました。

また、様々な視点で「近代洋画の先駆者 浅井忠」を紹介する展示を年間を通して行ったほか、「金子周次版画展－浪のひびきのひそまる聞ゆー」、「追悼 深沢幸雄の歩み」、「北詰コレクション メタルアートの世界Ⅱ」など、個別のテーマに基づいて収蔵作品等を紹介する「アート・コレクション」を開催しました。

このほか、展覧会に関連した美術講演会やワークショップ、こどもたちに創作の喜びや美術館活動に対する理解を深めてもらうための「美術館体験学習」、「おもしろ鑑賞教室」などを実施したほか、学校への出前授業である「出張鑑賞教室」にも取り組みました。また、美術の各分野にわたる実技講座を開催するとともに、その作品を展示する「美術館でつくろう展」も実施しました。

作品収集にあたりましては、収集基本方針に基づき、作家や所蔵家の方々の協力を得ながら、コレクションの体系化とその充実を図りました。

今後とも、関係諸機関や各団体をはじめ、県民の皆様方の御指導と御支援をいただけますようお願いいたします。

平成30年9月

千葉県立美術館長

太田章

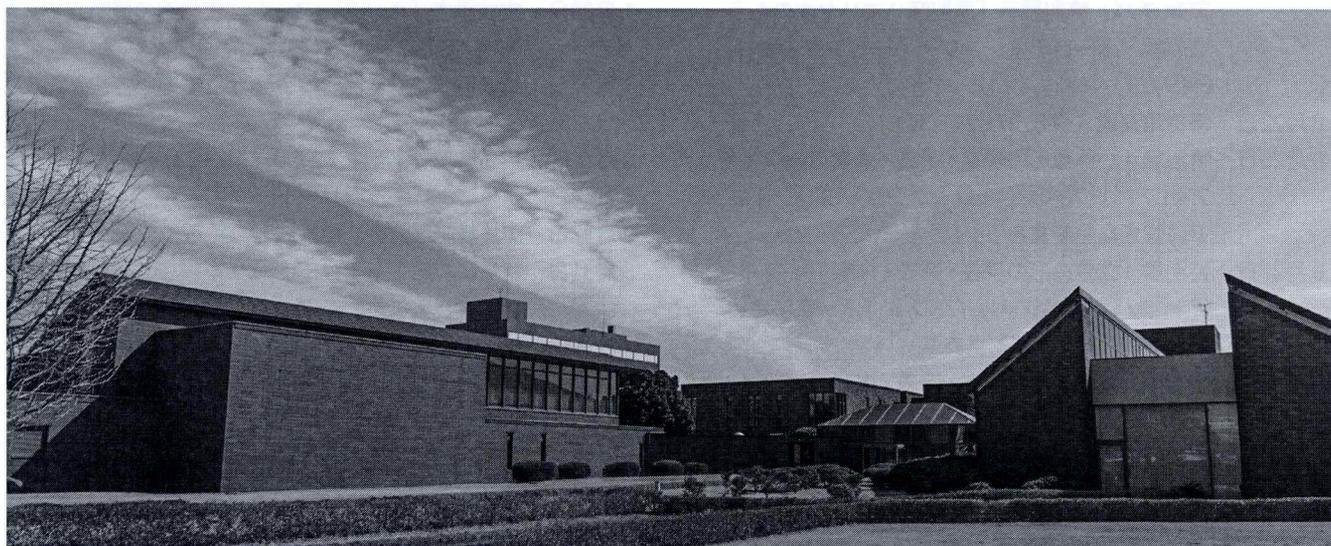
## ■ 沿革 ■

昭和44年12月9日	第1回千葉県立美術館建設懇談会を開催 (委員15名)	昭和55年3月16日	県民アトリエ棟完成記念講演会
昭和45年1月19日	県立美術館建設の請願書が2月県議会で採決	昭和55年4月1日	千葉県美術品取得基金条例施行
昭和45年7月24日	建設地として千葉公園に内定	昭和55年9月9日	県民アトリエ棟情報資料室開設
昭和45年11月12日	第1回美術館設置準備専門委員会を開催 (委員10名)	昭和58年7月29日	美術普及コーナー開設
昭和46年3月31日	千葉公園内の美術館基本構想成立	昭和58年11月12日	開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立
昭和46年6月24日	体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となり、代案として千葉市中央港埋立地を提示	昭和61年3月25日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事設計予算化
昭和47年1月5日	建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換	昭和61年4月10日	入口門扉4ヶ所設置
昭和47年3月31日	基本設計完了(株式会社大高建築設計事務所)	昭和61年4月23日	美術館西側沿道寄り生垣植栽
昭和47年7月31日	展示棟第1期工事の実施設計完了	昭和61年8月12日	講堂浸水防止工事完了
昭和47年9月21日	展示棟杭打工事着工	昭和62年3月25日	機械室増築基本設計及び展示棟、収蔵庫、機械室増築工事実施設計完了
昭和47年10月13日	展示棟建築工事請負契約議案可決	昭和62年10月15日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店)
昭和47年12月10日	展示棟建築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店)	昭和63年5月20日	受水槽設備改修工事(地上式)着工
昭和48年4月1日	文化課に美術館準備班を置き、開館事務開始	昭和63年8月31日	受水槽設備改修工事(地上式)完了
昭和48年11月30日	管理棟(第2期工事)の実施設計完了	昭和63年8月31日	展示棟(第8展示室)、収蔵庫(第3、4室)、機械室増築工事完了
昭和49年3月31日	展示棟竣工	平成元年2月28日	増築展示棟周辺芝張り工事完了
昭和49年4月1日	千葉県立美術館発足(職員14名)	平成元年4月1日	普及課が新設され、3課で業務実施
昭和49年10月23日	開館記念式典開催	平成元年4月20日	開館15周年記念特別展「房総と近代美術」を開催
昭和49年10月24日	開館記念展「千葉県美術展覧会」開催 一般公開開始	平成元年9月11日	空調機改修工事実施設計完了
昭和50年2月21日	管理棟杭打工事着工	平成2年6月8日	空調機改修工事完了
昭和50年3月13日	管理棟建築工事請負契約議案可決	平成2年9月29日	収蔵庫(第1、2室)冷凍機改修工事着工
昭和50年3月16日	管理棟建築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店)	平成2年11月7日	室内標識改修工事着工
昭和51年2月10日	管理棟竣工	平成3年1月31日	収蔵庫(第1、2室)冷凍機改修工事完了
昭和51年3月2日	管理棟完成記念特別展「浅井忠とその師弟展」を開催	平成3年2月20日	室内標識改修工事完了
昭和51年6月7日	寄付によって、正面玄関植栽	平成3年12月6日	空調用ポンプ改修工事完了
昭和52年3月12日	彫刻の野外展示開始	平成3年4月1日	運営の一部を(財)千葉県社会教育施設管理財団へ委託
昭和52年4月10日	展示棟の一室に美術普及室を開設	平成4年10月20日	温湿度記録装置改修工事完了
昭和53年1月18日	外構工事として、駐車場拡張(97台)	平成4年12月18日	食堂改修工事完了
昭和53年2月21日	美術普及棟の準備会発足	平成6年7月23日	開館20周年記念特別展「房総の美術」を開催
昭和53年10月17日	美術普及棟建築予算を計上	平成10年2月23日	ガス設備改修工事完了
昭和53年11月18日	浅井忠像完成除幕式	平成10年12月24日	空調設備改修工事完了
昭和53年11月30日	美術普及棟実施設計完了	平成11年6月5日	開館25周年記念特別展「ヒューストン美術館展」を開催
昭和54年1月8日	美術普及棟を県民アトリエ棟と改称	平成12年3月30日	屋根材剥落補修工事完了
昭和54年3月5日	県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決	平成12年7月31日	点字ブロック設置工事完了
昭和54年3月22日	県民アトリエ棟建築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店)	平成12年7月31日	文部省委嘱事業「親しみ博物館づくり事業」受託
昭和55年2月29日	県民アトリエ棟竣工	平成13年3月29日	屋根材剥落補修工事(第7展示室)完了
		平成14年3月25日	屋根材剥落補修工事(第6展示室)完了
		平成14年3月25日	非常灯用直流電源装置改修工事完了
		平成14年3月25日	防犯カメラ改修工事完了
		平成14年12月20日	直流電源装置蓄電池改修工事完了

- 平成15年 3月25日 空調設備改修工事実施設計完了
- 平成15年 7月10日 空調設備改修工事完了
- 平成16年 4月18日 来館者500万人達成
- 平成16年11月27日 開館30周年記念企画展「漁民を描くー渡辺  
學の世界」開催
- 平成17年 8月20日 空調用インバータ装置改修工事完了
- 平成18年 3月21日 電話装置改修工事完了
- 平成18年 3月31日 アトリエ棟空調機修繕工事完了
- 平成18年 3月31日 (財)千葉県社会教育施設管理財団への運営  
委託終了
- 平成21年 3月31日 空調設備修繕工事完了
- 平成22年 3月25日 耐震補強事前調査完了
- 平成23年 3月11日 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生  
3月末まで臨時休館
- 平成23年 6月17日 来館者600万人達成
- 平成23年 6月30日 耐震補強設計完了
- 平成24年 3月21日 耐震意匠設計完了
- 平成24年12月12日 耐震改修等工事着工
- 平成25年 1月 4日 耐震改修等工事により休館
- 平成26年 9月30日 耐震改修等工事竣工
- 平成27年 1月23日 開館40周年及び再開館記念式典開催
- 平成27年 1月24日 開館40周年記念特別企画展「平山郁夫展ー  
仏教伝来の軌跡、そして平和の祈りー」を  
開催



第7展示室廊下



美術館外観 アトリエ側

## ■平成29年度主要記事■

- 4月22日 アート・コレクション+「金子周次版画展—浪ひびきのひそまる聞ゆ」(～7/9)
- 4月22日 アート・コレクション「近代洋画の先駆者 浅井忠4—旅する画家—」(～7/9)
- 4月22日 アート・コレクション「みづ糸の魅力」(～7/9)
- 5月5日 第1回ワークショップ「にこにこカンバჯ」
- 5月20日 館長によるギャラリートーク①
- 5月24日 実技講座「陶芸(基礎)～使いたくなる器をつくらう～」(5/25・26、6/1・15・22)
- 6月3日 幕張総合高校美術館講座(6/3・10・17、7/1・15・16・22)
- 6月15日 館長によるギャラリートーク②
- 6月17日 第2回ワークショップ「えのぐで発見!すてき色」
- 6月22日 幕張中学校職場体験(～6/23)
- 6月27日 都賀中学校職場体験(～6/28)
- 7月6日 実技講座「陶芸(中級)～石膏型づくりと加飾を学ぼう～」(7/7・8・13・27・28、8/4)
- 7月8日 館長によるギャラリートーク③
- 7月22日 特別展「立体造形の現在・過去・未来 The フィギュア in チバ」(～9/24)
- 7月25日 教師のためのアートガイダンス(～7/27)
- 8月1日 高校生のための美術館セミナー(～8/3)
- 8月5日 特別展「立体造形の現在・過去・未来 The フィギュア in チバ」スペシャルワークショップ「フィギュアに好きな色を塗ろう」①
- 8月19日 特別展「立体造形の現在・過去・未来 The フィギュア in チバ」美術講演会「海洋堂センム、フィギュアの魅力を語る」
- 8月22日 特別展「立体造形の現在・過去・未来 The フィギュア in チバ」特別展示「原型師ハマハヤオのもう一つの顔・木一吉チェーンソーカービングの世界」(～9/3)
- 8月22日 博物館実習(～8/27・29・30)
- 8月26日 特別展「立体造形の現在・過去・未来 The フィギュア in チバ」スペシャルワークショップ「フィギュアに好きな色を塗ろう」②
- 8月27日 特別展「立体造形の現在・過去・未来 The フィギュア in チバ」スペシャルイベント「木一吉によるチェーンソーカービング実演」
- 9月9日 特別展「立体造形の現在・過去・未来 The フィギュア in チバ」スペシャルワークショップ「フィギュアに好きな色を塗ろう」③
- 9月30日 第3回ワークショップ「オリジナルモノレールをつくらう」
- 10月4日 第41回千葉県移動美術館 美術とくらし(～10/14)  
会場:多古町コミュニティプラザ
- 10月7日 千葉県移動美術館関連事業 ギャラリートーク
- 10月21日 ちばモノレール祭り2017  
会場:萩台車両基地
- 10月25日 高校生のための美術館セミナー(～10/26)
- 10月28日 アート・コレクション+「追悼 深沢幸雄展」(～1/14)
- 10月28日 アート・コレクション「近代洋画の先駆者 浅井忠5—バルビゾン派とともに—」(～1/14)
- 10月28日 アート・コレクション「季節の彩り」(～1/14)
- 11月3日 千葉湊大漁まつり  
会場:ケーズハーバー隣緑地
- 11月8日 幸町第二中学校職場体験(～11/9)
- 11月11日 ワークショップ「100人ワークショップ・等身大から始めよう」
- 11月14日 実技講座「金工(鍛金)」(11/16・21・23・28・30、12/5)
- 11月15日 花園中学校・緑町中学校職場体験(～11/16)
- 11月18日 成田アート博覧会(～12/3)  
会場:成田山参道
- 11月30日 泉谷中学校・習志野第六中学校職場体験(～12/1)
- 12月9日 第4回ワークショップ「くるくるパスタマシン版画」
- 12月23日 アート・コレクション+「鑄造の新世界 現代作家 西岡美千代と県美の収蔵作家たち」(～3/4)
- 1月13日 実技講座「ホリデーアート はじめての蜜蝋画」(～1/14)
- 1月20日 アート・コレクション「コレクション名品展」(～4/15)
- 1月20日 アート・コレクション「近代洋画の先駆者 浅井忠6—その師と弟子たち—」(～4/15)
- 1月20日 アート・コレクション「北詰コレクション メタルアートの世界II—メタルアートの匠と技—」(～4/15)
- 1月20日 実技講座「ホリデーアート 蜜蝋画の展開」(～1/21)
- 1月27日 第5回ワークショップ「とがして磨いて、金属アート」
- 2月2日 実技講座「篆刻」(2/9・16・23)
- 2月24日 館長によるギャラリートーク④
- 2月27日 実技講座展覧会「美術館とつくらう」展(～3/11)
- 3月31日 館長によるギャラリートーク⑤



## 1 アート・コレクション展

アート・コレクション+

金子周次版画展—浪のひびきのひそまる聞こゆ—

銚子の風景や自然などを主なモチーフとした金子周次の銚子市教育委員会所蔵の木版画作品を中心に、小学校で共に学んだ浜口陽三の銅版画や銚子を描いた渡辺学の日本画などを展示し、併せて、銚子の現在の景観などを紹介した。

【会 期】 平成29年4月22日（土）～7月9日（日）

【開催日数】 68日間

【会 場】 第1・2展示室

【展示点数】 123点

No.	作家名	作品名	制作年	所蔵者
1	金子周次	岩に登る釣り人		銚子市教育委員会
2	金子周次	岩に登る釣り人		銚子市教育委員会
3	金子周次	岩に登る釣り人		銚子市教育委員会
4	金子周次	とまり木		銚子市教育委員会
5	金子周次	松と月		銚子市教育委員会
6	金子周次	秋		銚子市教育委員会
7	金子周次	つがい鳥		銚子市教育委員会
8	金子周次	海から見る灯台		銚子市教育委員会
9	金子周次	海から見る灯台		銚子市教育委員会
10	金子周次	海から見る灯台		銚子市教育委員会
11	金子周次	海から見る灯台		銚子市教育委員会
12	金子周次	荒れる海と船		銚子市教育委員会
13	金子周次	犬吠岬		銚子市教育委員会
14	金子周次	荒れる海と灯台		銚子市教育委員会
15	金子周次	荒れる海		銚子市教育委員会
16	金子周次	犬吠岬		銚子市教育委員会
17	金子周次	松林から臨む灯台		銚子市教育委員会
18	金子周次	月見草と灯台		銚子市教育委員会
19	金子周次	台地の秋		銚子市教育委員会
20	金子周次	樹木と雲		銚子市教育委員会
21	金子周次	松籟濤都		銚子市教育委員会
22	金子周次	船つき場		銚子市教育委員会
23	金子周次	細い樹木たち		銚子市教育委員会
24	金子周次	犬吠岬 梅雨		銚子市教育委員会
25	金子周次	鳥と木と花		銚子市教育委員会
26	金子周次	犬吠岬の濤		銚子市教育委員会
27	金子周次	犬若立秋		銚子市教育委員会
28	金子周次	犬若		銚子市教育委員会
29	金子周次	初夏の犬若		銚子市教育委員会
30	金子周次	名洗港 夕焼け		銚子市教育委員会
31	金子周次	海を臨む樹木		銚子市教育委員会
32	金子周次	長崎海岸		銚子市教育委員会
33	金子周次	外川の町並		銚子市教育委員会
34	金子周次	松のある家並		銚子市教育委員会
35	金子周次	外川初夏		銚子市教育委員会
36	金子周次	南崖乃冬	1968	銚子市教育委員会
37	金子周次	海鹿島を臨む		銚子市教育委員会
38	金子周次	田園		銚子市教育委員会
39	金子周次	犬吠岬		銚子市教育委員会
40	金子周次	崖越しの灯台		銚子市教育委員会
41	金子周次	霧笛		銚子市教育委員会
42	金子周次	虚子の句に寄せて		銚子市教育委員会
43	金子周次	そびえ立つ犬吠埼灯台		銚子市教育委員会
44	金子周次	海からのぞむ犬吠埼灯台		銚子市教育委員会
45	金子周次	波に向かう船		銚子市教育委員会
46	金子周次	漁船		銚子市教育委員会
47	金子周次	舟とカモメ		銚子市教育委員会

48	金子周次	長崎の舟人	銚子市教育委員会	76	金子周次	虚子の句に寄せて	銚子市教育委員会
49	金子周次	沖に出る漁船	銚子市教育委員会	77	金子周次	霞ヶ浦	銚子市教育委員会
50	金子周次	銚子名洗浦	銚子市教育委員会	78	金子周次	波に千鳥	銚子市教育委員会
51	金子周次	農婦と菜の花	銚子市教育委員会	79	金子周次	雨もらいの磯	銚子市教育委員会
52	金子周次	犬吠岬(はがきセツト)	銚子市教育委員会	80	金子周次	名洗海水浴場	銚子市教育委員会
53	金子周次	笹川旅情	銚子市教育委員会	81	金子周次	林	銚子市教育委員会
54	金子周次	好雨	銚子市教育委員会	82	金子周次	帰帆	銚子市教育委員会
55	金子周次	宝満	銚子市教育委員会	83	金子周次	犬吠埼灯台	銚子市教育委員会
56	金子周次	松林に鳥	銚子市教育委員会	84	金子周次	犬吠埼の朝	銚子市教育委員会
57	金子周次	月と待宵草	銚子市教育委員会	85	金子周次	海	銚子市教育委員会
58	金子周次	黄色いバラ	銚子市教育委員会	86	金子周次	長崎の冬	1973 銚子市教育委員会
59	金子周次	あざみと待宵草	銚子市教育委員会	87	金子周次	台風一過の釣り人	1977 銚子市教育委員会
60	金子周次	松越しの灯台	銚子市教育委員会	88	金子周次	光の中の犬吠埼灯台	銚子市教育委員会
61	金子周次	松と飛ぶ鳥	銚子市教育委員会	89	金子周次	犬吠埼灯台	銚子市教育委員会
62	金子周次	霧笛	銚子市教育委員会	90	金子周次	森の小屋	銚子市教育委員会
63	金子周次	草と鳥	銚子市教育委員会	91	金子周次	稲穂と木	銚子市教育委員会
64	金子周次	秋風残花	銚子市教育委員会	92	金子周次	犬吠埼灯台	銚子市教育委員会
65	金子周次	白百合とりんどう	銚子市教育委員会	93	金子周次	松林と犬吠埼灯台	銚子市教育委員会
66	金子周次	おおいかぶさる樹林	銚子市教育委員会	94	金子周次	林から望む犬吠埼灯台	1974 銚子市教育委員会
67	金子周次	松籟 潮音	銚子市教育委員会	95	金子周次	銚子港 川口	1974 銚子市教育委員会
68	金子周次	待宵草 (夢二風美人画)	銚子市教育委員会	96	金子周次	犬吠 立春	銚子市教育委員会
69	金子周次	犬岩	銚子市教育委員会	97	金子周次	漢詩	銚子市教育委員会
70	金子周次	灯台と月	銚子市教育委員会	98	金子周次	石垣の家・外川	千葉県立美術館
71	金子周次	犬吠 牧水詩付	銚子市教育委員会	99	金子周次	川口風景	千葉県立美術館
72	金子周次	犬若 残照	銚子市教育委員会	100	金子周次	物見梯子のある風景	千葉県立美術館
73	金子周次	仙ヶ巖	銚子市教育委員会	101	金子周次	松林	千葉県立美術館
74	金子周次	利根川梅雨	銚子市教育委員会	102	金子周次	犬若浦釣り手晩夏	千葉県立美術館
75	金子周次	荒海の唄	銚子市教育委員会	103	金子周次	犬吠灯台	千葉県立美術館

104	金子周次	宵待草		千葉県立美術館
105	浜口陽三	パリの屋根	1956	千葉県立美術館
106	浜口陽三	さくらんぼと青い鉢	1976	千葉県立美術館
107	浜口陽三	二匹の蝶	1997	千葉県立美術館
108	浜口陽三	てんとう虫	1960	千葉県立美術館
109	浜口陽三	うさぎ	1999	千葉県立美術館
110	浜口陽三	尋常小学校時代の作品(画像)		ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション
111	船崎光治郎	改訂 高山花譜	1974	千葉県立中央図書館
112	船崎光治郎	房総風物聚 第1輯 御宿		千葉県立中央図書館
113	明石哲三	南方絵筆紀行		個人
114	渡辺 学	川口	1976	千葉県立美術館
115	小山周次	銚子犬吠埼	1961	千葉県立美術館
116	時田幸彦	犬吠	1991	千葉県立美術館
117	笠松紫浪	犬吠岬	1956	個人
118		下総国銚子全図	1914	個人
119		銚子御案内	昭和初期	個人
120		銚子十六景		個人
121		銚子絵葉書		千葉県立中央博物館大利根分館
122	三代目歌川広重	小学教育 大日本名所図会 銚子之浜	1981	千葉県立中央博物館大利根分館
123	石毛幸男	映像《ある舎人》		管理: 銚子市教育委員会

No.	作家名	作品名	制作年	場所
1	浅井 忠	印旛沼	1878	千葉県
2	浅井 忠	鍛冶橋	1878頃	東京都
3	浅井 忠	沢入駅	1884	群馬県
4	浅井 忠	溪流	1884	東京都
5	浅井 忠	鎌倉建長寺(2)	1885	神奈川県
6	浅井 忠	曳舟通り	1885	東京都
7	浅井 忠	房州白浜	1886	千葉県
8	浅井 忠	藁屋根	1887頃	群馬県
9	浅井 忠	磐梯山の図	1888	福島県
10	浅井 忠	房州波太村	1888	千葉県
11	浅井 忠	小丹波村	1893	東京都
12	浅井 忠	平壤大同江煉光亭	1894	朝鮮
13	浅井 忠	漂家邨天長節祝宴	1894-95	朝鮮
14	浅井 忠	漁婦	1897	千葉県
15	浅井 忠	フォンテンブローの森	1901	フランス
16	浅井 忠	奈良郊外	1903	奈良県
関係資料				
1	浅井 忠	筑波日記	1879	茨城県
2	浅井 忠他	明治美術会 集合写真		
3	浅井 忠	巴里日記	1900	フランス
4	浅井 忠	フランス滞在中使用手帳	1901	フランス
5	浅井 忠	スケッチブック(3)		奈良県他
6	浅井 忠	塚本靖宛絵葉書	1905	奈良県
7	浅井 忠	浅井安子宛絵葉書	1906	奈良県
8	浅井 忠	スケッチブック(4)		京都府他
9	浅井達三宛 書簡		1907	岐阜県

## みづゑの魅力

収蔵作品のなかから、明治期の浅井忠から昭和の作家までの水彩画の歩みをたどるとともに、水彩画の普及に尽力した大下藤次郎や新たな表現の可能性を追求した中西利雄など、水彩画の画期となった作家の作品を紹介した。また、大下藤次郎のスケッチブックや浅井忠宛の絵葉書なども併せて展示した。

【会 期】 平成29年4月22日(土)～7月9日(日)

【開催日数】 68日間

【会 場】 第8展示室

【展示点数】 39点

## 近代洋画の先駆者

### 浅井忠4－旅する画家－

収蔵作品による千葉県ゆかりの近代洋画の先駆者、浅井忠の活動を顕彰する展覧会。浅井の旅に注目し、旅の様子と作品の魅力を紹介した。

【会 期】 平成29年4月22日(土)～7月9日(日)

【開催日数】 68日間

【会 場】 第3展示室

【展示点数】 25点

No.	作家名	作品名	制作年
1	五姓田義松	三味線をひく女	不詳
2	浅井 忠	農家	1902
3	浅井 忠	京都高等工芸学校の庭	1903
4	五百城文哉	日光	不詳
5	牧野克次	松林	不詳
6	芝 千秋	奈良	1911
7	田中善之助	聖護院の裏	1907
8	黒田重太郎	街風景	1907
9	加藤源之助	秋の山(大和初瀬村)	1908
10	中林 儼	けしの花	不詳
11	大下藤次郎	紫陽花	1904
12	大下藤次郎	久々子湖	1911
13	丸山晚霞	初夏	1912頃
14	三宅克己	ローマ	1920
15	真野紀太郎	バラ	1940
16	河合新蔵	春の日	明治末～ 大正初
17	石井柏亭	印度洋上	1910
18	赤城泰舒	赤屋根の村	1913
19	河上左京	静物	大正末～ 昭和初
20	古賀春江	風景	1923
21	中西利雄	人物	1936
22	中西利雄	四人の女	1939
23	中西利雄	南仏風景	1930
24	不破 章	裁縫女	1943
25	不破 章	二女	1953
26	山本不二夫	美しき佐原河港	1940
27	三橋兄弟治	染色をする女	1954
28	富田通雄	卓による女	1958
29	無縁寺心澄	旧県庁と噴水	不詳
30	互井開一	八丈島	1935
31	互井開一	海浜<海辺>	1962
32	小堀 進	溪流	1960頃
33	小堀 進	山	1965
34	荒谷直之介	大原女	1969
35	春日部たすく	回想の四季	1971
36	山倉克己	田園弥生	1982
37	柴田祐作	白い蔵	1988
38	大崎善生	溪流	1988
39	前林章司	クムジュンガからのアマダブラム 峰	1987

## アート・コレクション+ 追悼 深沢幸雄の歩み

深沢幸雄は山梨県中巨摩郡平林村（現：富士川町）出身の銅版画家で、日本版画協会賞受賞、春陽会賞受賞、第2回フィレンツェ国際版画ビエンナーレでバンコ・デ・ローマ賞受賞など、国内外で高い評価を受けた。本展覧会では、平成29年1月2日に亡くなった深沢幸雄の業績を顕彰するとともに、その歩みを顧みることを目的とし、収蔵作品から約55点を精選し、市原市所蔵のガラス絵、書入パステル画も併せて展示した。また、本展に寄せて長女の深沢暁子氏が特別に刷った「窓ガラスの日記」の銅版画展示と刷りの技を収録したDVDも併せて上映した。

【会 期】 平成29年10月28日（土）～  
平成30年1月14日（日）

【開催日数】 61日間

【会 場】 第1・2展示室

【展示点数】 59点

No.	作家名	作品名	制作年	所蔵者
1	深沢幸雄	廃墟の貌	1955	千葉県立美術館
2	深沢幸雄	骨疾B	1955	千葉県立美術館
3	深沢幸雄	めし	1956	千葉県立美術館
4	深沢幸雄	ダンテ「神曲」地獄篇 よりジャンニ・スキッ ツ	1957	千葉県立美術館
5	深沢幸雄	墜ちてくる天使	1958	千葉県立美術館
6	深沢幸雄	繫縛	1959	千葉県立美術館
7	深沢幸雄	飛天挽歌	1960	千葉県立美術館
8	深沢幸雄	屈辱史B	1961	千葉県立美術館
9	深沢幸雄	固いとりで	1962	千葉県立美術館
10	深沢幸雄	飛神	1962	千葉県立美術館
11	深沢幸雄	虚空に乱れる(争乱 圏)	1962	千葉県立美術館
12	深沢幸雄	伝説	1966	千葉県立美術館
13	深沢幸雄	土と火の祝祭	1966	千葉県立美術館
14	深沢幸雄	洞窟	1966	千葉県立美術館
15	深沢幸雄	失われた像	1967	千葉県立美術館
16	深沢幸雄	扉たち	1967	千葉県立美術館

17	深沢幸雄	眼を開いた佛陀	1969	千葉県立美術館	44	深沢幸雄	輪舞	1992	千葉県立美術館
18	深沢幸雄	指の間の記憶B	1970	千葉県立美術館	45	深沢幸雄	月のマークのTシャツ	1993	千葉県立美術館
19	深沢幸雄	悠久に続く赤い線	1971	千葉県立美術館	46	深沢幸雄	勝利を歌う鳥	1993	千葉県立美術館
20	深沢幸雄	黎明のヴィーナス	1971	千葉県立美術館	47	深沢幸雄	北方の聖なる詩人B	1993	千葉県立美術館
21	深沢幸雄	星の門	1972	千葉県立美術館	48	深沢幸雄	休息する天使	1997	千葉県立美術館
22	深沢幸雄	胎動(メヒコ)	1975	千葉県立美術館	49	深沢幸雄	街の灯	1998	千葉県立美術館
23	深沢幸雄	掌の中の影	1976	千葉県立美術館	50	深沢幸雄	青い空の不死鳥	1999	千葉県立美術館
24	深沢幸雄	りんごの中の夜A	1978	千葉県立美術館	51	深沢幸雄	黄昏銀座	2000	千葉県立美術館
25	深沢幸雄	掌の中の卵	1978	千葉県立美術館	52	深沢幸雄	青い壘の形	2001	千葉県立美術館
26	深沢幸雄	凍れる歩廊(ベーリング海峡)	1978	千葉県立美術館	53	深沢幸雄	青い衝動	2004	千葉県立美術館
27	深沢幸雄	この遥かな遠い道	1979	千葉県立美術館	54	深沢幸雄	幼な子の夢	2010	千葉県立美術館
28	深沢幸雄	天空を計る	1979	千葉県立美術館	55	深沢幸雄	街頭の散策	2010	千葉県立美術館
29	深沢幸雄	アジェンダの地下にて	1980	千葉県立美術館	56	深沢幸雄	緑の小鳥(ガラス絵)	2006	市原市
30	深沢幸雄	異次元よりの使者	1981	千葉県立美術館	57	深沢幸雄	冬のバルセロナ(書入パステル画)	1990	市原市
31	深沢幸雄	鏡の前の人(2)	1983	千葉県立美術館	58	深沢幸雄	卒業制作「イブ(太古の原野)」(彫金)	1949	個人
32	深沢幸雄	酒場にて	1983	千葉県立美術館	59	深沢幸雄	黄昏銀座(書)		個人
33	深沢幸雄	星屑劇場	1983	千葉県立美術館			メゾチント作品制作 関連資料		個人
34	深沢幸雄	窓ガラスの日記 (関係資料コーナー 展示)	1983	千葉県立美術館			作成道具類 プレス機の折れた軸 グランド		個人 個人
35	深沢幸雄	陸橋の上を歩く人	1984	千葉県立美術館			「窓ガラスの日記」制 作銅版、色刷り別版 画		個人
36	深沢幸雄	憂愁市街(迷路)	1985	千葉県立美術館			ガラス絵作品制作関 連資料		個人
37	深沢幸雄	寂しい訪問者	1988	千葉県立美術館			絵の具箱		個人
38	深沢幸雄	ロック	1990	千葉県立美術館			筆		個人
39	深沢幸雄	長い飛行機の旅	1991	千葉県立美術館			楕状引掻き具		個人
40	深沢幸雄	いたづら天使	1992	千葉県立美術館			パステル画作品制 作資料		個人
41	深沢幸雄	誇り高き男	1992	千葉県立美術館			パステル		個人
42	深沢幸雄	白い抒情の人	1992	千葉県立美術館			書作品制作資料		個人
43	深沢幸雄	憂愁(青い裸像)	1992	千葉県立美術館			自動墨磨機		個人
							筆		個人
							陶製筆立て(自作)		個人
							深沢氏写真ポート レートパネル		個人

作品制作風景パネル	個人
デジタル一眼レフカメラ	個人
愛聴していたLPレコード	個人
視聴覚ブース	
銅版画刷師 深沢暁子「窓ガラスの日記」を刷るDVD	個人
房総プロムナード「銅版画家～深沢幸雄～」DVD	個人

17	フォンタネージ	羊飼いの少女	不詳
18	フォンタネージ	牛を追う農婦	1862頃
19	浅井 忠	漁婦	1897
20	浅井 忠	フォンテンブローの夕景	1901
21	塚本 靖	フォンテンブローの釣人	1901
22	塚本 靖	フォンテンブロー宮殿	1901
23	塚本 靖	グレーの古城址	不詳

## 近代洋画の先駆者

## 浅井忠 5 - バルビゾン派とともに -

収蔵作品による千葉県ゆかりの近代洋画の先駆者、浅井忠の活動を顕彰する展覧会。浅井とその師フォンタネージが影響を受けた、バルビゾン派と呼ばれるフランスの風景画家たちの作品を中心に紹介。さらに、バルビゾン派との関係から印象派の巨匠ルノワールの作品を紹介した。

【会 期】 平成29年10月28日（土）～  
平成30年1月14日（日）

【開催日数】 61日間

【会 場】 第3展示室

【展示点数】 23点

No.	作家名	作品名	制作年
1	浅井 忠	風景(1)	1878
2	フォンタネージ	森の空地の農婦	1865頃
3	浅井 忠	小丹波村	1893
4	コロー	フォンテンブローの風景	1830- 1835頃
5	コロー	ナポリ近郊の思い出	1860- 1865
6	ルソー	バルビゾンの農場	1850- 1855頃
7	ドービニー	オワーズ川のほとり	1865
8	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
9	クールベ	嵐	1865頃
10	クールベ	雪の中の小鹿	1869
11	ディアズ	森の中の農婦	1868
12	ルノワール	少女像	1916- 1918
13	ジャック	森の中	1871
14	デュプレ	嵐の前	不詳
15	デュプレ	森のはずれ	1860年代
16	フォンタネージ	池と樹木	1870- 1872頃

## 季節の彩り

四季の変化に恵まれた日本では、豊かな自然のなかで移りゆく季節を題材にした作品が、様々な技法や素材を用いて制作されてきた。収蔵作品のなかから、初秋から冬の終わりまでの身近な情景や各地の風景、人々の暮らしなど、季節の移ろいの様々な様子を描いた作品を紹介した。

【会 期】 平成29年10月28日（土）～  
平成30年1月14日（日）

【開催日数】 61日間

【会 場】 第8展示室

【展示点数】 32点

No.	作家名	作品名	制作年
1	富取風堂	初秋	1955
2	富取風堂	秋の草	1943
3	秋元松子	秋の花籠	1978
4	霜鳥之彦	秋果	1960
5	椿 貞雄	秋果図	1951
6	島多訥郎	秋趣	1966
7	上野斌郎	郊外秋景染色屏風	不詳
8	東山魁夷	秋深	1975
9	櫻田精一	池畔行秋	1981
10	都鳥英喜	八瀬の秋	1929
11	酒井亜人	晩秋	1952
12	中山爾郎	秋装の群落	1988
13	岸田劉生	霽れたる冬之日	1917
14	小堀 進	冬晴の果樹園	1936
15	酒井亜人	冬	1937
16	長澤喜久治	冬の陽ざし	1928
17	石井柏亭	冬の朝(行徳)	1909
18	星 襄一	雪の玉 A	1964
19	東山魁夷	冬の詩 1. 枯野	1979
20	東山魁夷	冬の詩 2. 冬樹	1979
21	東山魁夷	冬の詩 3. 湖岸	1979
22	東山魁夷	冬の詩 4. 冬華	1979
23	東山魁夷	冬の詩 5. 樹氷	1979

24	大野隆徳	信濃路の雪(2)	1937頃
25	古川 弘	童女と雪	1950
26	花田忠吾	津軽の冬	1988
27	鶴田吾郎	鷹の巣の雪山	1954
28	宮崎丈二	残雪	1956
29	ヘレン・ハイド	東京の元旦	1914
30	浅井 忠	カルタとりの女兒	不詳
31	藤田喬平	秋宝	2003
32	津田永寿	雪の朝	1989

## アート・コレクション+

## 鑄造の新世界

## 現代作家西岡美千代と県美の収蔵作家たち

主にアルミニウムを素材として、水中に浮遊するような不思議な感覚を表現する西岡美千代の鑄金作品と、当館の収蔵作品のなかから女性や動植物などをテーマとした香取秀真ら鑄金作品と、堀豊之ら彫刻作品をあわせて展示し、金属を素材とした作品の魅力を楽しむ機会とした。

【会 期】 平成29年12月23日(土・祝)～  
平成30年3月4日(日)

【開催日数】 55日間

【会 場】 第7展示室

【展示点数】 15点

No.	作家名	作品名	制作年	所蔵者
1	西岡美千代	浮 —ざわめき—	2007	個人
2	西岡美千代	floating world	2015	個人
3	西岡美千代	うつろう	2015	個人
4	西岡美千代	deep sleep I	2016	個人
5	西岡美千代	deep sleep II	2016	個人
6	西岡美千代	深淵	2017	個人
7	西岡美千代	侵蝕	2017	個人
8	堀 豊之	姉妹	1984	千葉県立美術館
9	鈴木 徹	馬と娘の恋物語	1984	千葉県立美術館
10	山本正道	エトルリアの壺	1985	千葉県立美術館
11	浦野八重子	生きるということ	1987	千葉県立美術館
12	香取秀真	鳩香炉	1949	千葉県立美術館
13	津田信夫	鴨	1936	千葉県立美術館
14	山室百世	鑄銅萌ゆる力置物	1940	千葉県立美術館
15	山室百世	臙銀粧える鳥置物	1941	千葉県立美術館

## コレクション名品展

当館のコレクションの中から、第1展示室では子供や女性を描いた国内外の絵画や彫刻作品を中心に、第2展示室では様々な「祈り」の姿やかたちを表現した彫刻作品や絵画・版画・染色作品を紹介した。また、新たに収蔵された川端龍子の「種痘」を第1展示室で展示した。

【会 期】 平成30年1月20日(土)～4月15日(日)

【開催日数】 74日間

【会 場】 第1・2展示室

【展示点数】 47点

No.	作家名	作品名	制作年
1	石井林響	木華開耶姫	1906
2	ルノワール	少女像	1916-1918
3	梅原龍三郎	純子像	1968
4	石橋武治	窓辺の少女	不詳
5	川端龍子	種痘	1946
6	五十嵐 幹	かくれんぼ	1983
7	横尾芳月	いで湯	1980
8	森 桂一	子供とピアノ	1937
9	津田信夫	犬	不詳
10	梅原正夫	なかよし	1985
11	都鳥英喜	婦人像	1919頃
12	鹿子木孟郎	裸女と野花	不詳
13	澤部清五郎	婦人像	1913
14	霜鳥之彦	緑のスウェーター	1923
15	黒田重太郎	女と子犬	1928
16	内藤 隼	緑衣の婦人像	1961
17	松村三冬	佳人	1971
18	五十嵐 幹	紅粧	1975
19	関 主税	潤声	1977
20	吉田 博	雨後の穂高山	1927頃
21	星 襄一	夜明け	1975
22	浜口陽三	ピーマンのある静物	1955
23	池田満寿夫	Something II	1966
24	池田満寿夫	遥かなる通り	1970
25	宮之原 謙	盛上磁連星壺	1933頃
26	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1995
27	長谷川 昂	釈 迦	1976
28	長谷川 昂	舍利弗	1976
29	長谷川 昂	目犍連	1976
30	長谷川 昂	大迦葉	1976
31	長谷川 昂	須菩提	1976
32	長谷川 昂	富楼那	1976

33	長谷川 昂	迦旃延	1976
34	長谷川 昂	羅睺羅	1976
35	長谷川 昂	阿那律	1976
36	長谷川 昂	阿 難	1976
37	長谷川 昂	優婆離	1976
38	鶴田吾郎	説教	1962
39	鶴田吾郎	初転法輪	1967
40	石川 響	渚の祈り	1992
41	松尾敏男	歷程	1984
42	横尾芳月	澄心	1980
43	永瀬義郎	祈り	1960
44	青木滋芳	染色笠森寺	1969
45	時田直善	崖の観音	1965
46	齊藤 惇	上華嚴寺詣	1998
47	後藤純男	山門雨後	1974

14	霜鳥之彦	ロシアの女	1923
15	浅井 忠	京都高等工芸学校の庭	1903
16	間部時雄	田園風景	1906
17	浅井 忠	武士山狩図 下絵	1905
18	浅井 忠	武士山狩図 下絵	1905
19	長谷川良雄	下鴨	1915
20	浅井 忠	民家(1)	1902- 1907
21	黒田重太郎	街風景	1907
22	黒田重太郎	浴後	1927
23	安井曾太郎	熱海附近	1929
24	梅原龍三郎	竹窓読書図	1937
25	浅井 忠	大津絵 金太郎	1907
26	浅井 忠	大津絵 弁慶に釣鐘	1907
27	浅井 忠	大津絵 弁慶	1907
28	浅井 忠	大津絵 娘の汐くみ	1907
29	浅井 忠	大津絵 武者	1907
30	浅井 忠	大津絵 鬼の風呂	1907
31	浅井 忠	大津絵 デッサン4種	1907

## 近代洋画の先駆者

## 浅井忠6ーその師と弟子たちー

収蔵作品による千葉県ゆかりの近代洋画の先駆者、浅井忠の活動を顕彰する展覧会。美術における師弟関係に注目し、浅井を中心にその師と弟子たちの作品を紹介。さらに浅井の絶筆となった「大津絵」を展示し、制作における浅井の柔軟で多彩な活動を紹介した。

【会 期】 平成30年1月20日(土)～4月15日(日)

【開催日数】 74日間

【会 場】 第3展示室

【展示点数】 31点

No.	作家名	作品名	制作年
1	浅井 忠	女の顔(模写)	1876- 1878
2	浅井 忠	少女	1877
3	浅井 忠	風景(2)	1878頃
4	フォンタネージ	神女之図	1876- 1878
5	フォンタネージ	牛を追う農婦	1862頃
6	浅井 忠	藁屋根	1887頃
7	フォンタネージ	木立	1868- 1872
8	デュブレ	嵐の前	不詳
9	ドービニー	オワーズ川のほとり	1865
10	浅井 忠	本と花	1889
11	浅井 忠	海辺の少女	1902- 1907
12	浅井 忠	漁婦	1897
13	浅井 忠	婦人像	1907

## 北詰コレクション

## メタルアートの世界IIーメタルアートの匠と技ー

本展覧会は、昨年度の「北詰コレクション メタルアートの世界ー黎明期の作家を中心にー」に続き、第二弾として「北詰コレクション メタルアートの世界IIーメタルアートの匠と技ー」と題して大正から昭和にかけて活躍した作家と作品を中心に当館に収蔵された北詰コレクションを紹介した。

【会 期】 平成30年1月20日(土)～4月15日(日)

【開催日数】 74日間

【会 場】 第8展示室

【展示点数】 38点

No.	作家名	作品名	制作年
1	津田信夫	青鸞献寿	1941
2	山本純民	唐銅猫	不詳
3	丸谷端堂	白銅鳳凰	1936
4	会田富康	青銅鳥花瓶	不詳
5	長野埜志	青銅丑香爐	不詳
6	香取正彦	華水注	1960
7	香取正彦	苺唐草文花瓶	1925
8	香取正彦	鑄銅花器 和	1951
9	香取正彦	龍銀回文花瓶	1988
10	香取正彦	からかね薄瑞花入	1962

Exhibition

11	高村豊周	青銅環文壺	1960
12	香取正彦	爵	不詳
13	大島如雲	青銅鼎形香爐	不詳
14	岡崎雪声	獅子脚水盤	不詳
15	山室百世	蒼穹	不詳
16	丸谷端堂	月下之佳人	1975
17	杉田禾堂	真珠飾黄銅花瓶	不詳
18	津田永寿	花入	不詳
19	高村豊周	朱銅花入	1966
20	高村豊周	青銅花盛	不詳
21	西村敏彦	鑄銅華瓶若葉しのぶひば模様	1928
22	山室百世	積	1975
23	丸山不忘	花瓶	1938
24	丸谷端堂	鑄銅柑子型花瓶	1967
25	北原三佳	籬梅藤文花瓶	1922頃
26	豊田勝秋	鑄銅花生寿恵廣	不詳
27	信田 洋	黄銅香炉	1931
28	鈴木治平	翠陰	1983
29	田中光輝	銀亀甲文茶釜風爐	不詳
30	帖佐美行	谷間の蘭花	不詳
31	信田 洋	鍍鈕	1938
32	大須賀 喬	彫金魚文花瓶	1952
33	高橋介州	象嵌香炉	不詳
34	鴨 幸太郎	手筈	1940
35	北原千鹿	萇函	1927
36	山脇洋二	ヒイラギと馬	1972
37	鴨 政雄	蝶花文花入	1969
38	岡部達男	遊ぶ子花瓶	不詳



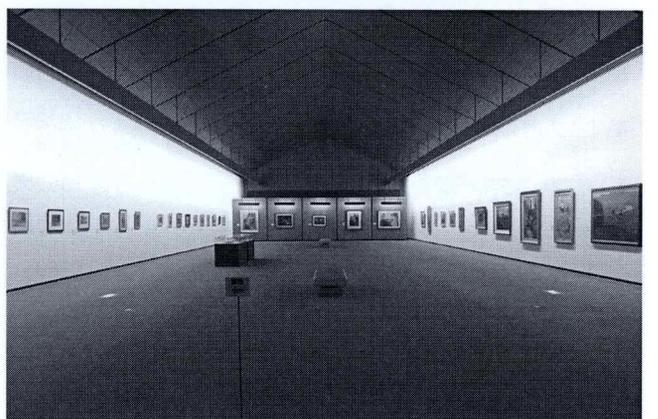
アート・コレクション「季節の彩り」  
会場風景



アート・コレクション「浅井忠4」  
会場風景



アート・コレクション + 「金子周次版画展」  
会場風景



アート・コレクション「みづ糸の魅力」  
会場風景



アート・コレクション + 「深沢幸雄の歩み」  
会場風景



アート・コレクション + 「鑄造の新世界」  
会場風景



アート・コレクション「コレクション名品展」  
会場風景

北詰  
コレクション  
Art Collection

# メタルアートの世界Ⅱ

世界Ⅱ  
—メタルアートの匠と技—

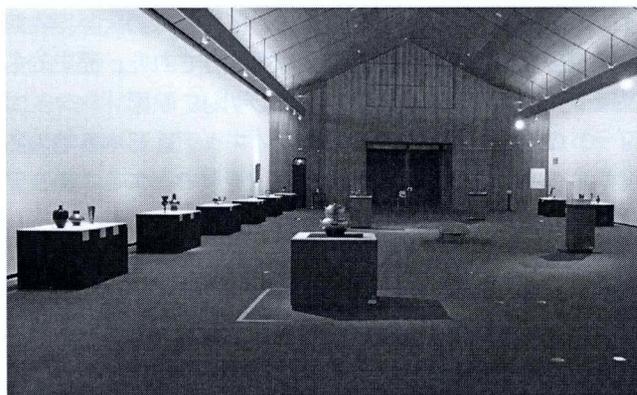
平成30年1月20日[土] → 4月15日[日]

千葉県立美術館 第8展示室 〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1 TEL 043-242-8311

開館時間 9時～16時30分 休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は閉館し翌日休館) 入場料 一般300円(240円) 高校・大学生150円(120円)  
(7月12日以上の団体料金・中学生以下・65歳以上・障害者手帳を所持の方も別途料金) 別途要料

<http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>

アート・コレクション  
「北詰コレクション メタルアートの世界Ⅱ」



アート・コレクション  
「北詰コレクション メタルアートの世界Ⅱ」  
会場風景

## 2 特別展

立体造形の現在・過去・未来

### The フィギュア in チバ

国内外で高い評価を受けるフィギュアの多様な世界を現在、過去、未来の三つの区分で紹介した。

【会 期】 平成29年7月22日（土）～9月24日（日）

【開催日数】 56 日間

【会 場】 第1・2・3・8展示室

【展示点数】 3,000 余点

【入場者数】 10,913 名

主な展示内容と作品

### 1. 現在／フィギュアの隆盛

「現在」では、日本のフィギア界を牽引してきた海洋堂の活動と作品を時代を追って紹介し、さらに地元千葉で活動するハマハヤオ氏の作品を紹介した。

#### ■海洋堂

##### 1) 導入

入口前に《女神三重奏》を設置。モデルは藤島康介の漫画『ああっ女神さまっ』の主要キャラクターで、講談社『コミックアフタヌーン』に連載された。フルートを吹くベルタンディ（現在）、ハーブを奏でるウルド（過去）、バグパイプを持つスクルド（未来）で構成されており、展覧会メイン・テーマの象徴とした。他に、イギリスの大英博物館や東京国立博物館から依頼を受けて制作された、歴史的名品をフィギュアにした「博物館モデル」、映画『シン・ゴジラ』の原型デザインとなったフィギュア、日本各地の名産や食べ物、乗り物などを、各都道府県ごとにミニチュア化した「フィギュアみやげ」を展示した。

##### 2) ヒストリー

海洋堂の活動を、各年代順に代表的作品を展示して紹介した。

60年代：開業草創期の様子を当時の写真をパネルにしたものや、販売していた商品などで紹介。

70年代：当時の主力商品であった「帆船キット」や、その組み立て販売の過程で開発したオリジナル工具などを紹介。

80年代：当時販売を開始した「ガレージキット」と呼ばれる、分割されたパーツを組み合わせて作る、少量生産の組立式フィギュアの実物を紹介。

90年代：原型師、山口勝久がポーズを可変できる「アクションフィギュア」を考案。決めポーズから逆算して可動に必要な部分に関節機構を加え表現豊かなポーズをとれる

ようになった作品を紹介。

2000年代：90年代末に発売開始した「チョコエッグ」が2000年に大ヒットし、以降の海洋堂を代表するフィギュア事業となった作品や、この時期販売を開始した可動範囲の広さなどで知られる「リボルバー・ジョイント」機構を搭載したフィギュアを紹介。

##### 3) 食玩ギャラリー

食玩とは食品に付けられたオマケのことで、海洋堂の名を広く知らしめた。恐竜、動物、昆虫、ミリタリー、キャラクターなど、題材の多様さ、完成度の高さで知られる。

##### 4) ジオラマギャラリー

ジオラマとは、限られた空間に、ある場面や情景を立体的に再現したもの。人物フィギュアだけでなく、関連する周囲の様子までも造型することで、物語や動物の生態をより詳しく表現できる。

##### 5) 動物日本地図

日本国内に生息する動物の生態分布図を、縮尺日本地図上にフィギュアを配置して再現した作品を紹介。

##### 6) 岡本太郎

日本を代表する芸術家、岡本太郎の代表作《太陽の塔》と、その胴体内部に設置された、プランクトンから人類に至るまでの生命の進化を292体の模型を使い表現した《生命の樹》のフィギュアを紹介。

##### 7) ソフビトイボックス

「ソフビ」とは、ソフトビニール（塩化ビニルモノマー）を型に流して作る成形品。「ソフビトイボックス」とはソフビの技法で制作したフィギュアのこと、自然、科学、動物、キャラクターなどを題材にして制作された作品を紹介。

##### 8) センムの部屋

海洋堂2代目社長、宮脇修一氏は、中学時代より平成17（2005）年社長就任まで専務を務めたため、今も「センム」と愛称されている。宮脇氏による企画作品枠を「センムの部屋」と呼び、潜水艦、ジェット機などが制作されている。

##### 9) よつばとダンボー

「よつば」とは、あずまきよひこによるコミック『よつばと!』の主人公、小岩井よつば。「ダンボー」とは、作中に登場するダンボール製のロボット型スーツの呼び名である。アスキー・メディアワークス出版『月刊コミック電撃大王』に連載中で、複数の賞を受賞するほか、10数カ国語に翻訳され、世界各国で紹介されているこの作品のキャラクターをフィギュア化した。

## 10) 原型師

海洋堂が誇る原型師たちの作品を、作家別に紹介した。

紹介作家：榎木ともひで、香川雅彦、木下隆志、竹谷隆之、BOME、松村しのぶ ※50音順

### ■ハマハヤオ

地元千葉県を拠点に活動するハマハヤオは、フィギュア原型師の草分け的な存在として知られる。ハマハヤオの代表的な作品を紹介した。

## 2. 過去／立体造型の原点

「過去」では、土偶や埴輪など、フィギュアの原点と言える作品や千葉を代表する民芸品、近現代の作家の作品を紹介した。

### ■縄文時代

- 1 土偶（袖ヶ浦市上宮田台遺跡出土） 千葉県教育委員会
- 2 イノシシ形土製品（袖ヶ浦市上宮田台遺跡出土） 千葉県教育委員会

### ■古墳時代

- 3 埴輪 椀を捧げる女子（成田市龍角寺古墳群第101号墳出土） 千葉県立房総のむら
- 4 埴輪 馬（成田市龍角寺古墳群第101号墳出土） 千葉県立房総のむら
- 5 埴輪 鹿（成田市龍角寺古墳群第101号墳出土） 千葉県立房総のむら
- 6 埴輪 水鳥（成田市龍角寺古墳群第101号墳出土） 千葉県立房総のむら

### ■芝原人形

- 1 花嫁 粘土・着彩（千葉惣次） 長南町郷土資料館
- 2 お針子娘 粘土・着彩（千葉惣次） 長南町郷土資料館
- 3 島田娘 粘土・着彩（千葉惣次） 長南町郷土資料館
- 4 コート娘 粘土・着彩（千葉惣次） 長南町郷土資料館
- 5 子ども相撲 粘土・着彩（千葉惣次） 長南町郷土資料館
- 6 力士 粘土・着彩（千葉惣次） 長南町郷土資料館
- 7 田舎教師 粘土・着彩（千葉惣次） 長南町郷土資料館
- 8 騎兵 粘土・着彩（千葉惣次） 長南町郷土資料館
- 9 熊乗り金太郎 粘土・着彩（千葉惣次） 長南町郷土資料館
- 10 高砂 粘土・着彩（千葉惣次） 長南町郷土資料館
- 11 えびす大黒 粘土・着彩（千葉惣次） 長南町郷土資料館
- 12 唐草狎 粘土・着彩（千葉惣次） 長南町郷土資料館
- 13 天神 粘土・着彩（千葉惣次） 長南町郷土資料館
- 14 子連れ 粘土・着彩（田中謙次） 長南町郷土資料館
- 15 桃持ち猿粘 土・着彩（田中謙次） 長南町郷土資料館
- 16 桃持ち猿 粘土・着彩（千葉惣次） 長南町郷土資料館
- 17 内裏雛 粘土・着彩（田中謙次） 長南町郷土資料館

### ■収蔵作品

- 18 笠原鉄明 《帰る日》平成5年（1993） 木 千葉県立美術館

- 19 高浜かの子 《メロディー》昭和60年（1985） 桐塑 千葉県立美術館
- 20 高浜かの子 《おねだり》昭和61年（1986） 頃 紙塑 千葉県立美術館
- 21 高浜かの子 《花ごま》不詳 紙塑 千葉県立美術館

## 3. 未来／多様化する表現

「未来」では、多様化するフィギュア表現の未来の姿を紹介した。

### ■ヴァーチャルアーティストIAのライブ

IA（イア）は、1st PLACE株式会社所属歌手、Liaの声を元に、赤坂アカがキャラクターデザインを手がけたヴァーチャルアーティスト。IAのワールドツアーライブパフォーマンスを立体映像で再現した。

- 1 ヴァーチャルアーティスト IA（イア） 1st PLACE株式会社+株式会社アージュ

### ■等身大フィギュア レム、ラムと新垣あやせ

近年はアニメキャラクターの等身大表現も行われている。今回はFIGUREXの制作によるレム、ラムと新垣あやせの等身大フィギュアを紹介した。

- 1 レム、ラム『Re:ゼロから始める異世界生活』平成29年（2017） 原作：長月達平、イラスト：大塚真一郎 出版：KADOKAWA メディアファクトリー フィギュア制作：FIGUREX
- 2 新垣あやせ『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』平成29年（2017） 出版：アスキー・メディアワークス 原作：伏見つかさ、イラスト：かんざきひろ フィギュア制作：FIGUREX

### ■千葉ットマン

自分自身でアニメやゲームなどの登場人物に扮することをコスチューム・プレイ、略して「コスプレ」と呼ぶ。これを肉体によるフィギュア的表現として捉え、地元千葉で活動する「千葉ットマン」の活動を、コスチュームの一部と千葉ットポッドと共に紹介した。

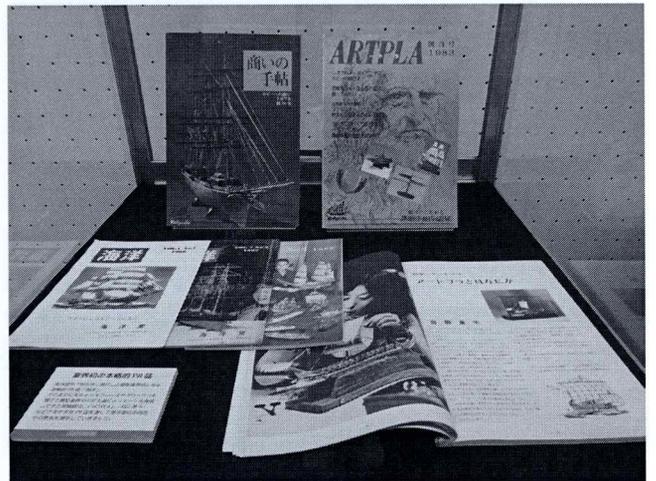
- 1 千葉ットマン コスチューム（部分） 千葉ットマン
- 2 千葉ットポッド 千葉ットマン

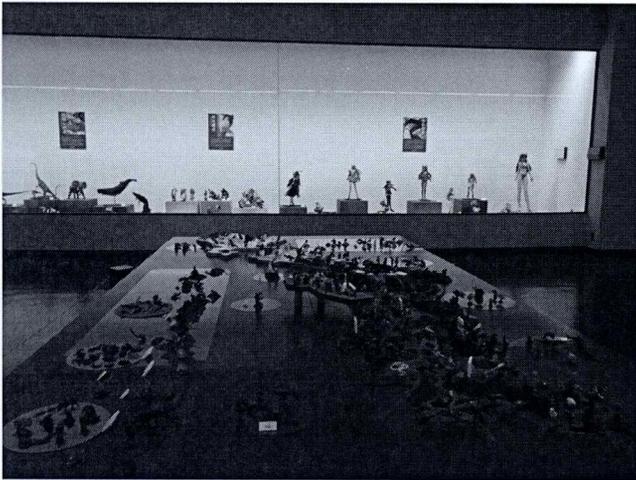
### ■WSC作家

ガレッジキットの祭典『ワンダーフェスティバル』に設けられた若い才能を発掘するセクション『ワンダーショウケース（WSC）』に抜擢された作家の中から、選んで紹介した。

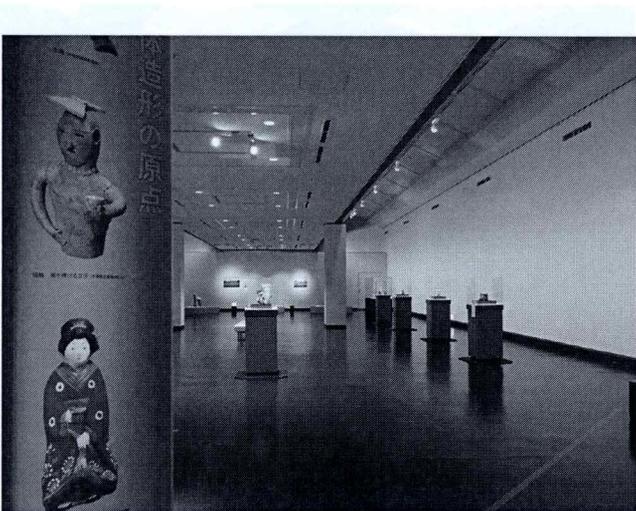
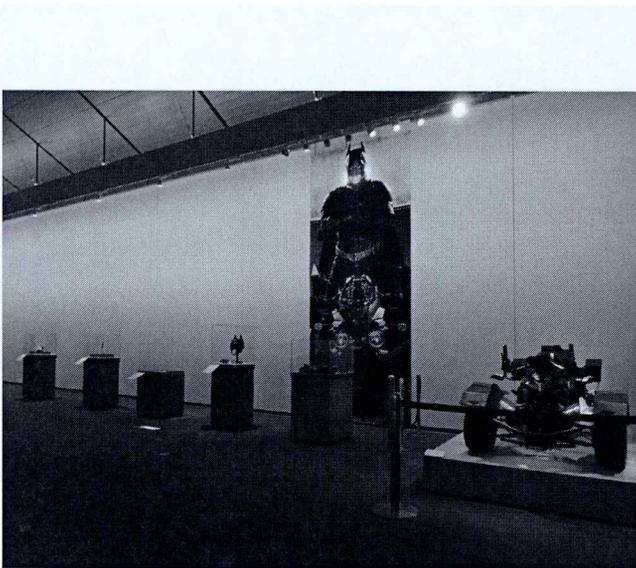
- 1 めめ（23期059）《みのりの》2012 レジンキャスト
- 2 岩本邦仁（30期078）《ハゴロモちゃん》2015 エポキシパテ
- 3 Chilmiru（31期082）《紅葉姫》2016 レジンキャスト
- 4 あいし（32期085）《シンシャ》2016 レジンキャスト  
（『宝石の国』原作・市川春子、講談社『月刊アフタヌーン』より）

特別展「The フィギュア in チバ」 会場風景





展示風景 千葉県立美術館



極まる造形と迫力が集結！

立体造形の現在・過去・未来

# THE フィギュアワールド

平成29年度特別展

7月22日/土→9月24日/日

海洋堂のフィギュアが3,000体以上！

キャラクターアーティストとフィギュアアーティストの対決！

展覧会のレゾナント ハナハナ子の作品も！

開館時間：9時～16時30分(入場は16時まで)。7月22日(土)のみ11時開館。休館日：月曜日(休日の場合は翌日)

入場料：一般 800円(640円) 高校・大学生 400円(320円)

千葉県立美術館  
Chiba Prefectural Museum of Art

立体造形の現在・過去・未来

# THE フィギュアワールド

平成29年度特別展

## 展示内容

### 現在

一大ブームを引き起こしたフィギュア造形世界「海洋堂」の興隆や、アニメ、コミックのキャラクターを立体化したフィギュアと、その高いクオリティを支える造形師たちを紹介します。

### 過去

千葉県内の遺跡から発見された土偶や埴輪、千葉県の郷土玩具である芝原人形などからフィギュアのルーツを探ります。

### 未来

若手作家によるフィギュア作品や等身大作品を紹介。さらにヴァーチャルアーティスト(AVATAR)のライブパフォーマンスを立体映像で再現！IAxSORISホログラムによる魅力あふれる世界を紹介します。

※展示による変更等をご注意ください。変更は随時お知らせいたします。  
千葉県立美術館 TEL: 043-264-8331

千葉県立美術館  
〒260-0291 千葉県中央区中央1-10-1  
TEL: 043-262-8311  
HP: www.chiba-museum.or.jp/ART/

### 3 千葉県移動美術館

第41回千葉県移動美術館は、「美術と暮らし」をテーマに、多古町コミュニティプラザを会場として開催した。浅井忠、堀江正章、椿貞雄、関主税、浜口陽三、香取秀真など、千葉県立美術館収蔵の名品から厳選した29点を展示した。

【会 期】 平成29年10月4日(水)～10月14日(土)  
 【開催日数】 10日間  
 【会 場 名】 多古町コミュニティプラザ  
 【展示点数】 29点  
 【入場者数】 379名  
 【主 催】 多古町教育委員会、千葉県立美術館

No.	作家名	作品名	制作年
1	山倉克己	高原暮色	1973
2	浅井 忠	カルタとりの女兒	不詳
3	浅井 忠	当世風俗五十番歌合(2番)	1907
4	浅井 忠	当世風俗五十番歌合(7番)	1907
5	浅井 忠	当世風俗五十番歌合(15番)	1907
6	浅井 忠	当世風俗五十番歌合(28番)	1907
7	浅井 忠	にわとり	不詳
8	浅井 忠	菓子器	1897
9	浅井 忠	花	1902- 1907
10	浅井 忠	小丹波村	1893
11	ジョルジュ・ ピゴー	二人の漁師	1892- 1897頃
12	堀江正章	耕地整理図	1901- 1902
13	石井柏亭	舟に居る人	1913
14	五十嵐幹	子供	1951
15	富取風堂	柿と軍鶏	不詳
16	富取風堂	酸漿と鶺鴒	不詳
17	関 主税	韻	1991
18	関 主税	滝	不詳
19	椿 貞雄	秋果図	1951
20	板倉 鼎	静物	1927
21	原 勝郎	コーヒーひき	1949
22	安藤信哉	静物	1980頃
23	浜口陽三	てんとう虫(15枚組)	1984
24	浜口陽三	22のさくらんぼ	1988
25	上野斌郎	草花図染色屏風	不詳
26	香取秀真	笑獅子香炉	1948
27	香取秀真	銅製猪型水差し	不詳
28	津田信夫	海	1927
29	津田信夫	瓢花生	1941- 1943



移動美術館 会場風景



移動美術館 会場風景



移動美術館 ギャラリートーク



## 1 特別展関連事業

### (1) 美術講演会

#### 海洋堂セムム、フィギュアの魅力を語る

フィギュアの造形企画・製作・販売を行う株式会社海洋堂の社長である宮脇修一氏による講演会を企画・開催した。町の模型店から始まった海洋堂は、人気アニメの登場人物、食品のおまけ(食玩)、カプセルトイやキャラクター商品の開発等、業界では群を抜いたクオリティーで高い評価と販売実績を誇っている。そんなフィギュア界のパイオニア、海洋堂社長(愛称はセムム)宮脇修一氏を招いての講演会。

【日 時】 平成29年8月19日(土)  
13:30～15:00

【会 場】 講堂

【講 師】 海洋堂社長 宮脇修一氏

【参加者数】 56名

### (2) スペシャルワークショップ

#### フィギュアに好きな色を塗ろう

ティラノサウルスのプラモデルを組み立て、カラージェッツを用いて自分好みの着色をして、フィギュアを完成させるワークショップを開催した。参加者の年齢に制限を設けずに実施し、子どもから大人まで誰もが楽しめるワークショップを展開した。

【日 時】 平成29年8月5日(土)、8月26日(土)、  
9月9日(土)  
10:30～、13:00～、15:00～

【会 場】 第2アトリエ(8/5)  
第7展示室(8/26)  
第7展示室(9/9)

【参加者数】 102名



ワークショップ「フィギュアに好きな色を塗ろう」

### (3) 特別展示

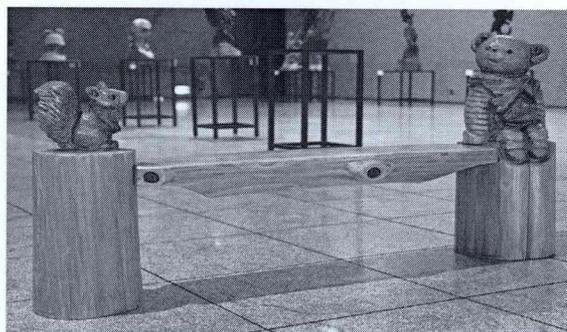
#### 原型師ハマハヤオのもう一つの世界・木一吉(キイチキチ)チェーンソーカービングの世界

フィギュア原型師の草分け的存在であるハマハヤオ氏は、「木一吉」というカーバーネームで、チェーンソーカービングのアーティストとしても活躍している。原型師としてのハマ氏のもう一つの素顔を、丸太から彫り出された41点の作品を通して展望する展覧会を開催した。また、本展覧会の記録をA4判8ページの冊子として作成した。

【会 期】 平成29年8月22日(火)～9月3日(日)

【会 場】 第7展示室

【参加者数】 3,075名



展示風景

### (4) スペシャルイベント

#### 木一吉によるチェーンソーカービング実演

来館者に、木一吉(キイチキチ)氏によるチェーンソーカービングの実演を鑑賞する「チェーンソーカービングショー」を開催した。氏はチェーンソーを巧みに操って丸太を彫り、30分ほどで鳥や動物など3体の小品を完成させ、その場で希望する子どもたちにプレゼントした。中庭の芝生広場に100人を超える見学者が集まった。

【日 時】 平成29年8月27日(日) 13:30～

【会 場】 中庭(芝生広場)

【講 師】 木一吉氏

【参加者数】 143名



カービングショー

## 2 ワークショップ

主に子どもを対象にした美術館での創作体験活動を通して、美術館の利用促進を図るため、展覧会に因んだ内容などのワークショップを以下のとおり開催した。

### 第1回 こどもの日スペシャルワークショップ にこにこカンバヅジ

自分や家族、友人の笑顔などをテーマに描画したものや色紙を型抜きしたものを配し、家族や友人らと楽しみながらオリジナルのカンバヅジを作成した。事前予約なしのワークショップ。

【日 時】 平成29年5月5日（金・祝）  
10:00～12:00、13:00～15:00

【会 場】 第6展示室  
【対 象】 幼児から一般  
【参加者数】 47名

### 第2回 「みづ糸の魅力」関連事業 えのぐで発見！すてき色

はがき大の水彩画用紙に、透明水彩絵の具で色を重ねたり滲ませたりして、色面の構成を行った。できあがった色面から気に入った部分を見つけて丸くくり抜き、カンバヅジを作った。さらに、1枚を選び額に入れて、身近な装飾品を作成した。

【日 時】 平成29年6月17日（土） 13:00～15:30  
【会 場】 第2アトリエ  
【対 象】 小学生  
【参加者数】 10名

### 第3回 オリジナルモノレールをつくろう

千葉都市モノレール会社と共催事業。モノレールの20分の1の大きさのダンボール模型を使って、「乗ってみたいモノレール」をイメージし、カラーシールやカラーダンボール紙でつくった部品を貼り、オリジナルモノレールを創作した。作品は、モノレール千葉駅構内のギャラリーに展示した。

【日 時】 平成29年9月30日（土）13:00～15:30  
【会 場】 千葉都市モノレール本社会議室  
【対 象】 小学生の親子  
【参加者数】 17組（34名）  
【展示期間】 10月26日（木）～11月5日（日）

### 第4回 「追悼 深沢幸雄の歩み」関連事業 くるくるパスタマシン版画

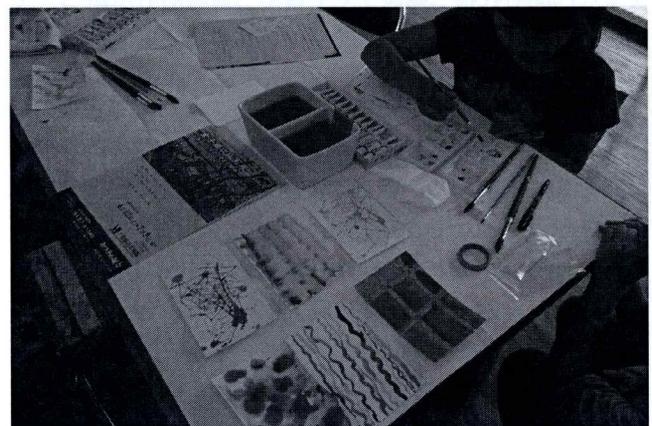
プレス機やインクを使わずに、手軽に版画の制作を実施した。台紙に紙、寒冷紗、タコ糸、レースなど、身近なものを好みの形に切り抜き貼り重ねて版にした。カーボン紙をインクの代わりに作品用紙と版の間に挟んでパスタマシンに通し、回転させるとカーボン紙の色で版が転写される。カーボン紙は4色、作品用紙は3色用意し、各人が好みの組み合わせを選び、制作を楽しんだ。

【日 時】 平成29年12月9日（土）13:00～15:30  
【会 場】 第2アトリエ  
【対 象】 小学3年生以上  
【参加者数】 14名

### 第5回 「メタルアートの世界Ⅱ」関連事業 とかして磨いて、金属アート

鍍金の作品を制作し、鍍金の技法に理解を深める16歳以上対象のワークショップ。ロストワックスの技法で金属を加工した。蜜蝋の塊を彫って原型を作り、耐熱石膏で原型を囲む。これに熱を加え、蝋分をすべて取り去ると鑄型となる。鑄型に溶かした金属を鑄込み、型を外してできた金属の塊をグラインダーややすりで磨き、オリジナルの小作品を作った。

【日 時】 平成30年1月27日（土）10:00～16:00  
【会 場】 第2アトリエ  
【対 象】 16歳以上  
【参加者数】 5名



えのぐで発見！すてき色

### 3 実技講座

#### 陶芸講座（基礎）「使いたくなる器をつくろう」

陶芸初心者を対象に、4kgの信楽粘土を使用しマグカップ（板づくり）、茶碗、花器（紐づくり）の3種を制作する講座。成形、削り、釉掛けの工程を経験し、陶芸についての基礎的な知識や技法を身に付け、楽しさを味わうことができた。

【日 時】 平成29年5月24日（水）、25日（木）、26日（金）  
6月1日（木）、15日（木）、22日（木）  
全6回 12:30～16:00

【会 場】 第2アトリエ

【講 師】 鈴木久美子氏

【受講者数】 21名

#### 陶芸講座（中級）「石膏型づくりと加飾を学ぼう」

陶芸経験者を対象にした講座。石膏で型をつくり、箸置きを作成した。複数個づくり、絵の具や釉薬で色分けも行った。花器等は、白化粧泥と黒化粧泥を使って、線象嵌を施した。釉薬を吹き付ける場合は、CMCあるいは洗濯糊を吹き付けて定着させた。仕上がりの違いを感じ取り、新たな技法を学び、陶芸の奥深さを感じ取ることができた。

【日 時】 平成29年7月6日（木）、7日（金）、8日（土）、  
13日（木）、27日（木）、28日（金）、8月4日（金）  
全7回 12:30～16:00

【会 場】 第2アトリエ

【講 師】 鈴木久美子氏

【受講者数】 19名

#### 金工（鍛金）講座

初心者から経験者を対象に、あて金、しめ錠など道具の扱いと基礎的な鍛金技法を身に付け、銅板を立体的な器にする面白さを学んだ。日常に使用できる器を7日間で丁寧に仕上げることができた。

【日 時】 平成29年11月14日（火）、16日（木）、  
21日（火）、23日（木）、28日（土）、  
30日（木）、12月5日（火）  
全7回 12:30～16:00

【会 場】 第2アトリエ

【講 師】 平山記通氏

【受講者数】 14名

#### ホリデーアート「はじめての蜜蝋画」

古くからある「蜜蝋画」の技法を用いた抽象表現作品を制作する講座。画面にコラージュと蜜蝋の層の重なりをつくり、さらにニードルで傷をつけた上から墨汁をかけて偶然の効果を生じさせ、ミニアイロンで熱しながら余分な蜜蝋をティッシュで吸い取り画面に蜜蝋の濃淡の変化をつけるなど、完成度の高い作品ができた。

【日 時】 平成30年1月13日（土）、14日（日）  
全2回 12:30～16:00

【会 場】 第2アトリエ

【講 師】 上田靖之氏

【受講者数】 22名

#### ホリデーアート「蜜蝋画の展開」

古くからある「蜜蝋画」の技法を用いた抽象表現作品を制作する講座。画面にコラージュと蜜蝋の層の重なりをつくり、さらにニードルで傷をつけた上から墨汁をかけて偶然の効果を生じさせ、ミニアイロンで熱しながら余分な蜜蝋をティッシュで吸い取り画面に蜜蝋の濃淡の変化を生み出す。経験者対象のため、「はじめての蜜蝋画」より制作枚数を多くした。

【日 時】 平成30年1月20日（土）、21日（日）  
全2回 12:30～16:00

【会 場】 第2アトリエ

【講 師】 上田靖之氏

【受講者数】 13名

#### 篆刻講座

名前の中の文字などから一文字の陰刻・陽刻と、二文字の陰刻・陽刻をつくることを通して篆刻の歴史などの基礎的な知識や道具の扱いについて学んだ。静かな雰囲気の中で個別指導を受けながら制作を楽しんだ。

【日 時】 平成30年2月2日（金）、9日（金）、  
16日（金）、23日（金）  
全4回 12:30～16:00

【会 場】 第2アトリエ

【講 師】 那須大卿氏

【受講者数】 22名

## 4 博学連携事業

### 貸出用学習キット

県内の学校等に当館所有の下記の学習キットを学習支援キットとして貸し出した。

- (1) 日本画学習BOX  
中学校1件
- (2) 複製画  
小学校1件 大学1件 社会教育施設1件
- (3) バーチャルミュージアム（アートカード含む）  
小学校1件 大学1件
- (4) ビルダーカード  
小学校1件

### 出張授業・移動美術館ワークショップ等

当館の職員が学校等に出向き、先生方と協力して授業を行った。

- (1) 日本画素材BOXを使用したプログラム  
高校1件
- (2) ビルダーカードを使用したプログラム  
小学校7件・中学校1件・近隣施設3件
- (3) 複製画を使用したプログラム  
中学校2件
- (4) バーチャルミュージアムを利用したプログラム  
なし

### 当館での実演と展示（近隣施設を含む）

来館した学校団体等に当館の学習キットを用いた教育活動を展開した。

- (1) 日本画素材BOX  
実演：中学校2件・高校1件・職員研修1件  
展示：2件（県造形教育大会）
- (2) ビルダーカード  
実演：中学校7件・高校3件・教員研修1件  
展示：3件（県造形教育大会・「美術館とつくりろ展」）
- (3) バーチャルミュージアム（アートカード含む）  
高校2件（インターンシップ・幕張総合高校美術館講座）
- (4) 複製画

日本画素材BOXは、館内で使用することが多かった。教員研修で紹介したところ、興味を持ち、題材の中に組み込んで出張授業で使う例もあった。小学生から大人まで、幅広い層で利用できる学習キットである。ビルダーカードは全身を使って大人数で活動できるのが魅力で、貸出、出張授業ともに件数が多かった。春、秋の県の造形教育研究大会では、日本画素材BOXとビルダーカードを展示した。

### 幕張総合高校美術館講座

「美術館講座」は、社会教育施設としての美術館の役割を学び、専門性の高いキャリア教育を実践することを目的に、千葉県立幕張総合高等学校と千葉県立美術館との連携事業として実施。全35時間の実習を条件に「学外演習」として1単位授与される。ワークショップスタッフ体験、学習支援キットを用いた学習体験、作品の展示や取り扱い等の学芸員体験、展示作品を用いたギャラリートーク等を行った。

【日 時】 平成29年6月3日(土)、10日(土)、17日(土)、  
7月1日(土)、15日(土)、16日(日)、22日(土)  
全7回

※受講生募集説明会：平成29年2月23日(木)

【受講生数】 6名

### 高校生のための美術館セミナー

学生の職業意識の向上を図るため、県庁における就業体験の機会の提供を受け、高校生をインターンシップ実習生として受け入れて実施した。バックヤードツアー、展示作品鑑賞、学習キット体験、作品研究、ギャラリートーク等を行った。

【日 時】 平成29年8月1日(火)～8月3日(木)、  
10月25(水)、26日(木)

【受講生数】 12名（県立高校5校8名、市立高校2校2名、私立高校1校2名）

### 美術館体験学習

中学生が働くことの意味を考え、自分の進路や将来の職業について考える機会とするために、職場体験学習の受け入れを実施した。全2日間の日程で、バックヤードツアー、展示作品鑑賞、学習キット体験、野外作品のメンテナンス・清掃作業等を行った。

【日 時】 平成29年6月22日(木)、23日(金)、  
27日(火)、28日(水)、  
11月8日(水)、9日(木)、  
15日(水)、16日(木)、  
30日(木)、12月1日(金)

【受講者数】 7校18名



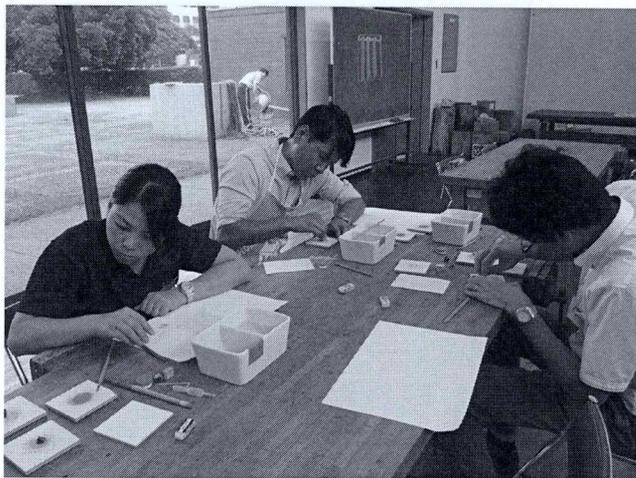
貸出用学習キット  
(ビルダーカード)

## 教師のためのアートガイダンス

教職員向けの社会体験研修として受け入れ実施した。主に千葉県、千葉市の中堅教諭等資質向上研修として、夏季休業中に3日間の日程で実施した。美術館ならではの体験活動を重視し、バックヤードツアー、展示作品鑑賞、作品研究、ギャラリートーク体験等の他に、学習キット等を用いた実習（学習支援プログラム体験）を中心に、学校での活用を意識した内容とした。

【日 時】平成29年7月25日（火）～7月27日（木）

【受講者数】7名



教師のためのアートガイダンス

## ケンビーおもしろ鑑賞教室

当館に常設展示されている彫刻の案内ガイドを作成し、館内配付した。案内ガイドは一般鑑賞者を対象に作成し、展示されている場所を示したマップと彫刻の素材豆知識等を記した「千葉県立美術館・常設展案内・彫刻」と、館内外に展示されている彫刻作品の解説を記した「もっと知りたい！彫刻・鑑賞ガイド」の二種類である。子ども用に作成した「彫刻探検ツアー」リーフレットと合わせて、来館者への活用を図った。



おもしろ鑑賞教室

## 100人ワークショップ・等身大から始めよう

「100人ワークショップ・等身大から始めよう」は、県内の中学校美術部員が集まり、千葉大学加藤修教授と千葉大学の学生（千葉大学普遍教育教養展開科目「アートをつくる」受講生）がファシリテーターとなって、自然木を材料としてシュロ縄で結び、組み上げて巨大なオブジェを完成させるワークショップである。今年度は「やさしさ」をテーマに、5校32人の中学生が参加した。

【日 時】平成29年11月11日（土）

【会 場】中庭（芝生広場）

【参加者数】中学生31名、教師7名、千葉大学生6名

【展示期間】平成29年11月11日（土）～12月15日（金）

## 博物館実習

大学で学芸員課程を履修し、博物館実習の単位を修得希望の学生に向け、博物館実習を実施した。ギャラリートーク、企画展関連事業（ワークショップ、カービング実演準備運営）、資貸出業務や展覧会準備など展示や教育普及活動に関する多岐にわたる実務体験を行った。

【期 日】平成29年8月22日（火）～30日（水）

うち8月28日（月）は自宅研修日

【受講者数】1名（成城大学）



100人ワークショップ・等身大から始めよう

## 5 地域連携事業

### 成田アート博覧会

成田山参道の仲町商店街で、成田市立成田中学校、成田小学校、美郷台小学校、成田市観光協会、仲町街づくり協議会との共催で、アートプロジェクト「第7回成田アート博覧会」を実施した。仲町商店街の27店舗及び成田観光館3Fギャラリーに、成田市内で学ぶ小・中学生の絵画等を展示し、美術を通じた地域の活性化を図ることを目的とした取り組みとなった。

【日 時】平成29年11月18日（土）～12月3日（日）

【会 場】成田山参道仲町商店街、  
成田観光館3Fギャラリー

【展示作品】小学校20点、中学校46点、高等学校1点、  
計67点



成田アート博覧会



## 6 活動協力など

### 友の会

#### (1) 目的

“みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気の中で教養を豊かにし、美術文化の向上を図り、会員相互の親睦を深める。

#### (2) 組織

会員数 個人会員258名

役員 会長1名、副会長2名、監事2名

理事 若干名

#### (3) 事業

##### ① 友の会だより「しおさい」の発行

年4回各500部印刷し、会員に配布した。

##### ② 第41回葉美会展の開催

【会 期】平成29年9月20日（水）～24日（日）

合評会：9月24日（日）（講師：羽生智樹氏）

【会 場】第6展示室

【出品者数】48名

【展示点数】89点

##### ③ One Day Art Trip

・金子周次の風景を歩こう

【日 時】平成29年6月10日（土）

【行 先】銚子市内写生地・銚子市市民センター

【参加者数】20名

・波の伊八と長谷川昂

【日 時】平成29年11月25日（土）

【行 先】鴨川市内社寺・鴨川市郷土資料館

【参加者数】26名

##### ④ 館事業への協力

ミュージアムグッズの販売、実技講座の開催等、県民アトリエ事業に積極的に参加した。

##### ⑤ その他

絵葉書、図書、企画展関連商品の販売（図録、絵葉書、グッズ）

#### (4) 平成29年度友の会実技講座

##### ① 日本画講座

【日 時】平成29年5月9日（火）～14日（日）

【講 師】中村寛治氏

【受講者数】12名

##### ② 水彩画講座1

【日 時】平成29年5月17日（水）～19日（金）

24日（水）～26日（金）

【講 師】青柳光枝氏

【受講者数】29名

##### ③ 洋画講座1

【日 時】平成29年6月8日（木）～10日（土）

14日（水）～16日（金）

【講師】 羽生智樹氏

【受講者数】 28名

## ④洋画講座2

【日時】 平成29年6月21日(水)～23日(金)  
27日(火)～29日(木)

【講師】 濱田 清氏

【受講者数】 28名

## ⑤洋画講座3

【日時】 平成29年7月4日(火)～6日(木)、9日(日)  
12日(水)、13日(木)

【講師】 田辺知治氏

【受講者数】 20名

## ⑥洋画講座4

【日時】 平成29年7月19日(水)、23日(日)  
25日(火)～28日(金)

【講師】 竹久秀樹氏

【受講者数】 29名

## ⑦写真講座

【日時】 平成29年8月19日(土)、20日(日)、27日(日)  
10月15日

【講師】 片岡 伸氏

【受講者数】 10名

## ⑧水彩画講座2

【日時】 平成29年10月18日(水)～20日(金)  
25日(水)～27日(金)

【講師】 青柳光枝氏

【受講者数】 29名

## ⑨はじめてのアクリル画教室

【日時】 平成29年11月4日(土)、5日(日)

【講師】 伊藤香奈氏

【受講者数】 22名

## ⑩洋画講座5

【日時】 平成29年11月10日(金)～12日(日)  
17日(金)～19日(日)

【講師】 羽生智樹氏

【受講者数】 29名

## ⑪洋画講座6

【日時】 平成29年12月13日(水)、14日(木)、17日(日)  
19日(火)、20日(水)、24日(日)

【講師】 田辺知治氏

【受講者数】 31名

## ⑫洋画講座7

【日時】 平成30年1月10日(水)～12日(金)  
16日(火)～18日(木)

【講師】 竹久秀樹氏

【受講者数】 26名

## ⑬洋画講座8

【日時】 平成30年3月7日(水)～9日(金)  
13日(火)～15日(木)

【講師】 濱田 清氏

【受講者数】 37名

## ボランティア

美術館の活動をより円滑で充実したものとするため、情報資料室ボランティアとワークショップボランティアを募集し、年間を通して活動した。情報ボランティアの活動は情報資料室のレファレンスを中心として、広報資料の配架、図録等の整理他を行った。ワークショップボランティアの活動は、実施に合わせた研修や準備を行い、当日の制作や受付などのスタッフとしてワークショップの運営に携わった。植草学園大学の学生にもワークショップボランティアをお願いし、最大8名の協力を得た。

9月に情報資料室・ワークショップのボランティアの再募集を行い、新たに3名が加わった。本年度末の登録者数は、39名である。

## 7 情報資料室

情報資料室は、美術館への理解と関心を高め、美術振興に資することを目的に昭和55年9月に開室した。一般向けの美術図書や美術雑誌、展覧会図録などの図書資料を来館者の閲覧に供している。さらに、図書資料以外にも、情報資料室前のロビー等にポスター、チラシ、案内状を掲出し、各地の展覧会やイベント、講座等の美術に関する情報を提供している。

なお、平成29年度は21冊の寄贈を受け、収蔵図書数は6,721冊となった。

【面積】 172.77㎡

【席数】 8席

【開室時間】 13:00～16:00

【休室日】 休館日、その他の臨時休館日

## 蔵書冊数

	平成28年度	平成29年度	合計
	収蔵図書	受蔵図書	
総記	3,179 冊	11冊	3,190冊
絵画	2,072 冊	7冊	2,079冊
彫刻	313 冊	0冊	313冊
工芸	420 冊	1冊	421冊
版画	184 冊	0冊	184冊
デザイン・建築	121 冊	0冊	121冊
写真・映像	195 冊	1冊	196冊
書	216 冊	1冊	217冊
合計	6,700 冊	21冊	6,721冊



## 1 平成29年度貸出資料一覧

作者名	作品名	展覧会名	会場・会期	申請者(貸出先)
吉田登毅	玉堂富貴	「いすみ市の文化財展」—絵画資料を中心に—	いすみ市郷土資料館 平成29.4.15～7.30	いすみ市郷土資料館
板倉 鼎	金魚	「よみがえる画家 板倉鼎・須美子展」	目黒区美術館 平成29.4.8～6.4	目黒区美術館
	金魚と雲			
	静物			
	裸婦			
	巴里風景			
椿 貞雄	自画像	特別展「椿 貞雄 歿後60年 師・劉生、そして家族とともに」	千葉市美術館 平成29.6.7～7.30	千葉市美術館
	八重子像			
	垣根のある風景			
	牡丹			
	夏之路傍			
	横堀角次郎兄像			
	山茶花図			
	夏の風景			
	春夏秋冬図屏風(春)			
	アンドレ裸体			
	岩			
	黒壺に椿一輪			
	犬吠埼			
	鋸山から見た房総半島			
	おこぜ			
	かれい			
秋果図				
老政治家の像				
水彩画家(渡辺義一君像)				
鴨図				
柴宮忠徳	樹と石	「柴宮忠徳」展	佐倉市立美術館 平成29.8.5～9.24	佐倉市立美術館
ワーグマン	七里ヶ浜風景	「フェリーチェ・ベアトの写真 風景・人物と日本の洋画」展	DIC川村記念美術館 平成29.9.9～12.3	DIC川村記念美術館
浅井忠	藁屋根			
浅井忠・高橋源吉	A Pictorial Museum of Japanese Manners & Customs			
椿 貞雄	自画像	「岸田劉生と椿貞雄」展	宮城県美術館 平成30.1.27～3.25 久留米市美術館 平成30.4.7～6.17	宮城県美術館
	八重子像			
	春夏秋冬図屏風(春)			
今関脩竹	ふるさと	「第55回記念藍筍会書作展」	東京都美術館 平成30.3.9～3.15	藍筍会
椿貞雄	横堀角次郎兄像	「横堀角次郎とその仲間たち」展	アーツ前橋 平成30.3.17～5.29	アーツ前橋
岸田劉生	霽れたる冬之日			

## 2 平成29年度新収蔵資料一覧

種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	受入方法	寸法(縦×横)cm
日本画	川端龍子	種痘	1946	紙本・着彩	寄附	66.6×86.1

## 3 平成29年度収蔵資料数一覧

(平成30年3月31日現在)

	購入	寄附	保管換	合計
日本画	128	187	26	341
洋画	355	552	41	948
彫刻	83	49	11	143
工芸	149	602	10	761
書	110	163	14	287
版画	175	106	5	286
合計	1,000	1,659	107	2,766
研究資料	243	1,339	54	1636



## ■ 管理運営 ■

### Administration

#### 千葉県立美術館の使命

千葉県立美術館は、千葉県ゆかりの美術資料を中心として体系的に収集、保管して後世に継承するとともに、「みる、かたる、つくる」活動により新たな知見を創造し、美術情報を発信します。さらに、この美術活動をとおして、美術を愛する人材を育成し、県民の学習および地域づくりを支援します。

1. 調査・研究を基に、新たな美術資料の発見と価値を見出し、千葉県の美術・文化に関する資料を収集・保存して、後世に伝えます。
2. 美術資料や調査・研究の成果を知的資産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、美術の振興と発展に寄与します。
3. 県民に専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、美術や文化を愛する人材を育成します。
4. 美術館は地域の核となって、美術をとおしてまちづくり、地域文化振興、地域おこし、といった地域づくりを支援します。

# 1 組織

## 千葉県立美術館

### 庶務課

- 文書の收受、発送、整理及び保存に関すること
- 予算の経理、決算その他会計事務に関すること
- 職員の給与、服務その他の人事及び福利厚生に関すること
- 関係機関及び団体との連絡調整に関すること
- 個人情報等に関すること
- 教育財産管理に関すること
- その他の他の課に属さない事務

### 普及課

- 講演会、講座、ワークショップ等の企画・運営に関すること
- 美術館講座、博物館実習、インターンシップ、ガイダンス等の企画・運営に関すること
- 年報、館報等の編集及び発行その他広報普及活動に関すること
- 美術資料及び情報の整理及び公開利用に関すること
- 団体展の展示、運営に関すること

### 学芸課

- 美術資料の収集、保管及び展示に関すること
- 美術館資料の技術的、専門的な調査研究に関すること
- 企画展覧会等の開催に関すること
- 美術館資料の貸借に関すること

### 千葉県博物館協議会

- 教育機関設置条例第21条の2の規程により組織、運営している。
- 館運営の円滑化を図るため、館長の諮問機関として置かれ、学校教育、社会教育関係者並びに学識経験者の中から県教育委員会が任命している。

### 千葉県立美術館友の会

- 館の活動と提携し、展覧会・実技講座・美術鑑賞の旅の開催、会報の発行などを行っている。

## 2 平成29年度職員

館長	田村 俊雄	普及課 課長	倉内 郁子
副館長兼庶務課長事務取扱	大堀 昭一		主任上席研究員 荒井 喜代美
副館長	渡邊 修一		主任上席研究員 廣川 政和
			主任上席研究員 長谷川 広
			研究員 松田 直子
庶務課 副主幹	山本 恵美子	学芸課 課長	金田 幸代
主査	市原 功吉		主任上席研究員 中松 れい
主査	安井 美智代		主任上席研究員 関口 達彦
副主査	鈴木 美津子		上席研究員 石倉 亮治
主事	塚本 吉胤		研究員 古屋 梨奈
			臨時的任用職員 常葉 美香

### 3 平成 29 年度利用状況

#### (1) 平成29年度入館者一覧表

	開館 日数	入場者計	個人									
			計	有 料			無 料					
				計	一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他
4月	25	4,860	4,840	536	497	39	4,304	6	5	77	4,015	201
5月	26	8,412	8,315	671	664	7	7,644	6	12	144	7,294	188
6月	26	8,971	8,873	697	646	51	8,176	205	0	131	7,580	260
7月	26	9,534	9,373	934	845	89	8,439	59	0	657	7,413	310
8月	27	12,053	12,053	2,597	2,344	253	9,456	152	27	988	7,620	669
9月	22	8,913	8,878	2,624	2,431	193	6,254	59	0	375	5,351	469
10月	26	13,084	13,084	74	68	6	13,010	5	0	51	12,905	49
11月	26	8,362	7,948	487	471	16	7,461	578	114	241	6,163	365
12月	23	26,962	26,723	341	314	27	26,382	26	0	304	25,832	220
1月	23	5,008	4,906	460	438	22	4,446	20	0	52	4,214	160
2月	24	8,157	8,066	497	454	43	7,569	37	1	249	6,885	397
3月	27	4,598	4,521	448	401	47	4,073	34	1	198	3,672	168
計	301	118,914	117,580	10,366	9,573	793	107,214	1,187	160	3,467	98,944	3,456

	開館 日数	団 体										団体数
		計	有 料			無 料						
			計	一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他	
4月	25	20	0	0	0	20	20	0	0	0	0	1
5月	26	97	15	15	0	82	60	0	0	22	0	3
6月	26	98	44	44	0	54	0	0	0	54	0	2
7月	26	161	17	17	0	144	0	0	1	137	6	3
8月	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9月	22	35	19	19	0	16	0	0	0	16	0	1
10月	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	26	414	141	141	0	273	0	0	0	273	0	12
12月	23	239	118	114	4	121	9	0	61	51	0	6
1月	23	102	6	6	0	96	0	0	0	76	20	4
2月	24	91	20	20	0	71	0	0	0	71	0	4
3月	27	77	0	0	0	77	5	0	0	29	43	2
計	301	1,334	380	376	4	954	94	0	62	729	69	39

## (2) 平成29年度団体展一覧表

No.	展覧会名	展示内容	利用期間	出品点数	入場者数
1	第33回千葉県日本水彩展	水彩画	4/3~4/9	194	1,172
2	第32回日本画四季展	日本画	4/10~4/16	67	822
3	(一般社団法人)第47回新構造(社)千葉支部展	絵画・写真・工芸	4/10~4/16	95	703
4	第42回武蔵美千葉支部展	洋画・日本画・デザイン・工芸等	4/17~4/23	54	783
5	第44回千葉新協展	絵画(油彩、水彩)	4/17~4/23	211	916
6	第43回歩会彫刻展	彫刻	4/24~5/7	25	2,170
7	第47回表美展	掛軸・屏風・額・その他(創作)	5/1~5/7	20	667
8	東華書院展	書道	5/1~5/7	339	1,213
9	第20回平成美術会展	油画	5/8~5/14	100	1,060
10	第21回仲間達展	デッサン・水彩・油彩・パステル・アクリル等	5/8~5/21	65	1,712
11	第55回千葉アマチュア美術会展	洋画・日本画・版画・書・彫刻・俳画・工芸等	5/15~5/21	757	2,388
12	第41回公募墨の県展	水墨画・墨彩画・団扇絵等	5/22~5/28	434	2,098
13	第62回二科千葉支部展	洋画	5/29~6/4	106	2,015
14	伝統工芸千葉展	伝統工芸	5/29~6/4	56	698
15	第64回千葉県書道協会展	書道	6/5~6/11	444	1,040
16	第20回千葉多摩美会展	絵画・立体・工芸・デザイン・建築・写真等	6/12~6/18	53	1,514
17	第40回記念千葉一陽展	油彩・水彩・アクリル・版画・ガラス絵等	6/12~6/18	133	2,072
18	千葉一水会展	洋画	6/12~6/18	58	1,952
19	第45回水彩連盟千葉支部展	水彩画	6/19~6/25	94	988
20	フォトサークル「ミルフィーユ」第2回写真展	写真	6/19~6/25	78	1,120
21	第26回玄鳥書院展	書道	6/26~7/2	37	730
22	Water Color 千葉	水彩画	7/3~7/9	64	1,171
23	第62回千葉二紀展	油画	7/3~7/9	68	1,099
24	第27回千葉県木彫会展	彫刻	7/3~7/9	35	698
25	第49回千葉市水墨画同好会連合会展	水墨画・墨彩画・掛軸	7/10~7/17	468	1,765
26	千葉県小中学校書写展覧会	書写	7/18~7/23	622	2,011
27	第49回習美会初夏大作展	洋画・日本画・水墨画	7/18~7/23	278	1,305
28	第34回千葉県医師会美術展	洋画・日本画・工芸・書・写真	7/18~7/23	131	972
29	第46回写真千葉県展	写真	7/24~8/6	296	3,015
30	第25回三軌会千葉支部展	絵画・彫刻・工芸・写真	7/24~7/30	108	1,307
31	ハンゲル書道・韓国伝統文化展	ハンゲル書道・韓国伝統工芸・風景写真	7/24~7/30	90	368
32	平成29年度千葉県特別支援学校作品展	絵画・写真・書道・陶芸等	7/24~7/30	521	1,314
33	第34回千葉中美展	油画・水彩画・日本画(公募展)	7/31~8/6	166	1,359
34	千葉硯心会書作展	書道	7/31~8/6	38	798
35	第49回第一美術協会千葉支部展	絵画・彫刻・工芸・イラスト等	8/7~8/13	115	1,549
36	第14回なの花書道展	書道	8/7~8/13	184	1,213
37	いてふ彫刻展	彫刻	8/7~8/13	58	1,136
38	第57回白扇書道会展	書道	8/14~8/20	2,005	3,545
39	第14回日本春秋書院千葉書道団展	書道	8/21~8/27	102	678
40	第27回太平洋美術会千葉支部展	油彩・水彩・版画・彫刻・染織	8/21~8/27	184	1,294
41	第42回陽画会油絵展	絵画(油画)	8/21~8/27	60	952
42	第55回新世紀千葉支部展	油画・水彩画・版画	8/28~9/3	43	1,017
43	第62回千葉県勤労者美術展	洋画・書・写真	8/28~9/3	207	1,212
44	第23回創土会陶芸展	陶芸	8/28~9/3	273	700
45	第47回千葉県大学美術連盟展	洋画・立体	9/4~9/10	71	484
46	千葉県高等学校総合文化祭第50回合同写真展	写真	9/4~9/10	1,265	1,387

47	第40回千葉県写真展、40周年記念写真展	写真	9/4~9/18	390	2,500
48	第67回千葉デザイン展2017	デザイン	9/11~9/24	111	1,343
49	葉美会展	洋画(油、パステル)・日本画・水彩・写真	9/19~9/24	89	614
50	第67回千葉県美術展覧会(県展)	洋画・日本画・工芸・彫刻・書道	9/25~10/22	2,346	11,960
51	第28回千葉県教育芸術祭	総合芸術	10/23~10/29	519	1,321
52	一般社団法人二科会写真部第37回千葉支部展	写真	10/23~10/29	75	1,007
53	第46回千葉県身体障害者作品展	絵画・書・写真・手工芸等	10/23~10/29	215	1,107
54	第40回等邇会千葉県支部展	油彩、水彩、パステル画	10/30~11/5	47	1,189
55	第29回平和を願う美術展	油画・水彩画・日本画・水墨画・版画・写真・彫刻・工芸・陶芸・インスタレーション	10/30~11/5	281	1,519
56	創造美術会千葉支部展	絵画・工芸・その他	10/30~11/5	70	1,235
57	第29回千葉県高等学校総合文化祭「美術工芸作品展」	絵画・工芸	11/6~11/12	2,263	2,599
58	第29回千葉県高等学校総合文化祭「書道作品展」	書道	11/13~11/19	825	1,867
59	第13回伝統工芸陶葉会展	工芸	11/20~11/26	65	744
60	第44回文化書道千葉県連合会公募展覧会	書道	11/20~11/26	319	705
61	第49回千葉現展	絵画・デザイン・写真・立体・工芸	11/20~11/26	46	801
62	千葉県がり版アート孔版画展	孔版画	11/27~12/3	171	963
63	第18回東方国際美術展	水墨画・書道	11/27~12/3	154	656
64	第62回こども県展	絵画・デザイン	12/4~12/17	8,901	24,384
65	第29回日本童謡の書展	書道	12/18~12/24	1,435	1,163
66	第45回富士百景写真展2018	富士山の写真	1/4~1/8	100	1,066
67	第24回千葉読売写真展(会員展/公募展)	写真	1/9~1/21	371	1,602
68	千葉県生涯大学校5学園・植草学園共同陶芸展示会	陶芸	1/22~1/28	352	937
69	キルトリーダーズ千葉展覧会	パッチワークキルト	2/5~2/12	78	1,776
70	第43回子ども造形展	絵画・粘土・工作・陶芸	2/5~2/12	1,500	2,581
71	第70回記念千葉県小・中・高校書初展覧会	書道	2/5~2/12	670	2,381
72	千葉大学教育学部美術科・図工科卒業・修了制作展	油彩・水彩・版画・彫刻・デザイン等	2/13~2/18	16	492
73	第29回書星選抜展	書道	2/13~2/18	240	664
74	第52回千葉大学教育学部学生書道展	書道	2/13~2/18	59	500
75	千葉日報書道展	書道	2/19~2/25	357	985
76	第9回千葉県写真連盟会員展	写真	2/26~3/4	77	1,010
77	第43回千葉県民写真展	写真	2/26~3/4	398	1,219
78	第23回翔洋展	洋画	3/5~3/11	28	433
79	第65回書星教育部展	書道	3/12~3/18	1,669	1,325
80	千葉県立幕張総合高等学校書道・美術作品展	書道・美術	3/12~3/18	198	1,029

## 4 平成29年度利用案内

### ■開館時間

開館時間	午前9時から午後4時30分
休館日	月曜日（ただし、月曜日が祝日のときは開館し、翌日休館） 年未年始（12月28日～1月4日）

### ■入場料（※（）内は20名以上の団体料金）

#### アート・コレクション展

一般	300円（240円）
高校・大学生	150円（120円）
小・中学生	無料
65歳以上	無料

#### 平成29年度特別展「立体造形の現在・過去・未来 The フィギュア in チバ」

一般	800円（640円）
高校・大学生	400円（320円）
小・中学生	無料
65歳以上	無料

### ■交通

#### 電車・モノレール

JR京葉線・千葉都市モノレール千葉みなと駅下車徒歩約10分

#### 千葉駅からバス利用

千葉駅西口《26番のりば》

千葉みなとループバス（タワーコース）「千葉ポートタワー」行『県立美術館入口』（千葉みなとリハビリ病院）

下車徒歩約3分

#### 自動車

東京方面から 東関東自動車道『湾岸習志野』I.Cから約20分

成田方面から 京葉道路『穴川』I.Cから約20分

東金方面から 千葉東金道路『千葉東』I.Cから約20分

館山方面から 京葉道路『松ヶ丘』I.Cから約20分

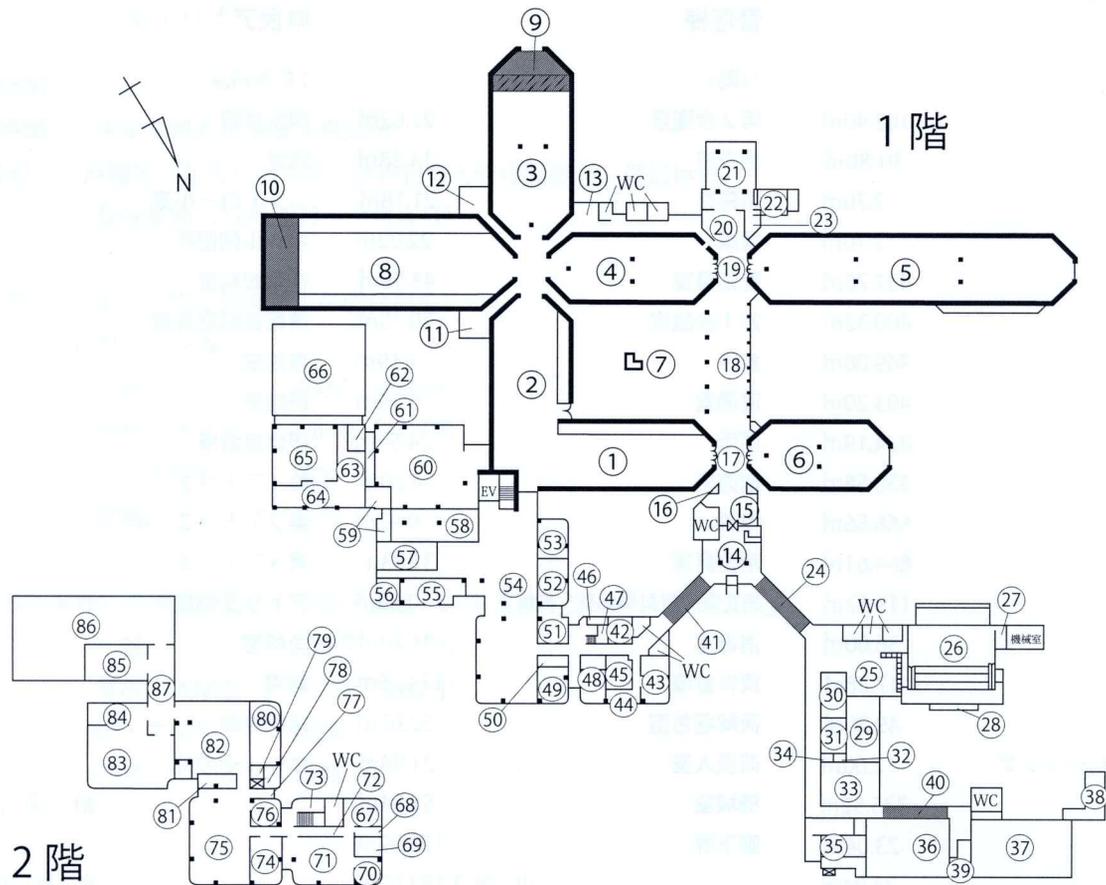
駐車場無料（78台利用可・うち2台は身体障害者用）

## 5 施設

図面等資料

展示棟		管理棟		県民アトリ工棟	
		(1階)		1F 機械室	25.92㎡
玄関ホール	102.40㎡	第2会議室	22.62㎡	講堂倉庫	8.64㎡
クローク	91.80㎡	更衣室	14.38㎡	講堂	259.24㎡
倉庫A	2.70㎡	医務室	21.18㎡	コントロール室	30.33㎡
倉庫B	2.70㎡	書庫	22.02㎡	ホール側便所	29.97㎡
第1展示室	437.76㎡	警備員室	43.59㎡	情報資料室	172.77㎡
第2展示室	400.32㎡	第1会議室	20.15㎡	情報資料室倉庫	4.70㎡
第3展示室	469.08㎡	倉庫	7.19㎡	事務室	22.76㎡
第4展示室	403.20㎡	湯沸室	5.19㎡	研修室	74.70㎡
第5展示室	824.19㎡	便所	24.54㎡	研修室倉庫	4.23㎡
第6展示室	330.58㎡	宿直室	34.20㎡	第1アトリエ	155.70㎡
第7展示室	566.56㎡	物置	9.92㎡	第2アトリエ	184.31㎡
第8展示室	864.61㎡	用務員室	31.83㎡	第3アトリエ	95.47㎡
食堂	119.52㎡	審査室・資料準備室・荷解室	520.68㎡	アトリエ側便所	20.77㎡
厨房	36.00㎡	消毒室	31.79㎡	荷解室	25.65㎡
従業員控室	17.28㎡	資料倉庫	124.25㎡	窯場	27.17㎡
食堂ホール	49.20㎡	荷解梱包室	52.67㎡	窯場倉庫	6.66㎡
ミュージアムショップ	12.00㎡	荷扱入室	21.94㎡	ホールその他	352.67㎡
ロビー	335.52㎡	機械室	51.74㎡	計 ③	1,501.66㎡
第1休憩室	23.04㎡	廊下等	123.97㎡	合計	10,663.57㎡
第2休憩室	23.04㎡	小計	1,183.85㎡	(①+②+③)	
第3休憩室	23.04㎡	(2階)			
便所A	30.24㎡	館長室	33.27㎡	〈参考〉	
便所B	23.76㎡	副館長室	23.42㎡	*展示室総面積	4,296.30㎡
身障者用便所	7.92㎡	第1応接室	14.67㎡	*収蔵庫総面積	771.50㎡
コントロール室	20.16㎡	第2応接室	14.55㎡		
フィルター室	28.92㎡	庶務課室	112.34㎡		
工作室	31.00㎡	会議室	43.84㎡		
発電気室	25.00㎡	学芸課・普及課室	195.32㎡		
電気室	123.20㎡	学芸相談室	23.91㎡		
ポンプ室	76.80㎡	研究工作室	216.49㎡		
機械室	305.20㎡	写真スタジオ	54.30㎡		
機械室(新)	283.82㎡	器材室	6.74㎡		
高架水槽室	11.46㎡	暗室	12.19㎡		
E. V機械室	27.28㎡	第1収蔵室	184.40㎡		
E. V廻り	54.56㎡	第2収蔵室	42.81㎡		
ダクトスペース	35.68㎡	第3・4収蔵室	544.29㎡		
廊下等	123.48㎡	E. V前室	16.39㎡		
計 ①	6,343.02㎡	便所	21.50㎡		
		湯沸室A	3.24㎡		
		// B	6.87㎡		
		廊下等	60.94㎡		
		ダクトスペースその他	3.56㎡	敷地面積	33,057.87㎡
		小計	1,635.04㎡	建物面積	8,777.94㎡
		計 ②	2,818.89㎡	延床面積	10,663.57㎡

## 施設平面図



## 《展示棟》

- 1 第1展示室
- 2 第2展示室
- 3 第3展示室
- 4 第4展示室
- 5 第5展示室
- 6 第6展示室
- 7 第7展示室
- 8 第8展示室
- 9 第3展示室倉庫
- 10 第8展示室倉庫
- 11 休憩室1
- 12 休憩室2
- 13 休憩室3
- 14 玄関ホール
- 15 売店
- 16 清掃用具置場
- 17 小展示室ロビー
- 18 ロビー
- 19 中展示室ロビー
- 20 食堂ホール
- 21 食堂
- 22 厨房
- 23 厨房控室

## 《アトリエ棟》

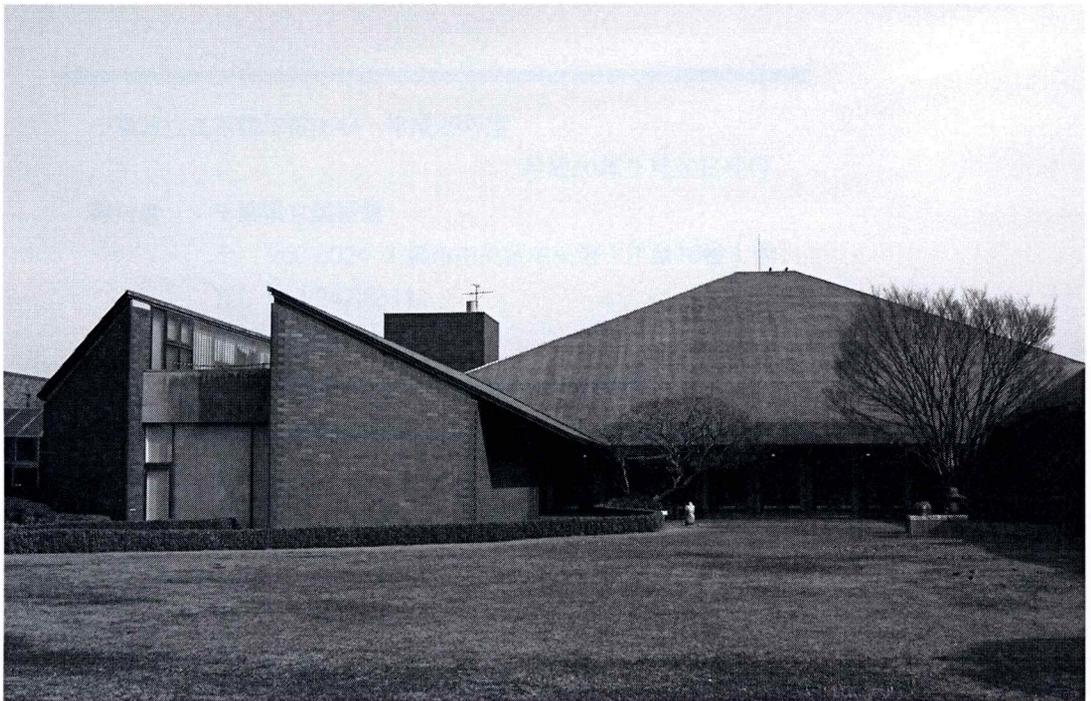
- 24 アトリエ通路
- 25 ホール
- 26 講堂
- 27 講堂倉庫
- 28 放送室
- 29 情報資料室
- 30 事務室
- 31 書庫
- 32 情報資料室倉庫
- 33 研修室
- 34 研修室倉庫
- 35 第3アトリエ (和室)
- 36 第1アトリエ
- 37 第2アトリエ
- 38 窯場
- 39 アトリエ搬入口
- 40 アトリエ廊下

## 《管理棟》

- 41 管理棟通路
- 42 第1会議室
- 43 第2会議室
- 44 医務室

- 45 文書庫
- 46 1F 給湯室
- 47 用務員倉庫
- 48 警備室
- 49 警備員室
- 50 清掃用具置場
- 51 用務員室
- 52 機械室
- 53 燻蒸室
- 54 審査室
- 55 荷解梱包保管室
- 56 控室
- 57 車庫
- 58 資料倉庫
- 59 コントロール室
- 60 B1 機械室
- 61 フィルター室
- 62 発電機室
- 63 工作室
- 64 ポンプ室
- 65 電気室
- 66 第2機械室
- 67 館長室
- 68 応接室

- 69 資料室
- 70 副館長室
- 71 庶務課
- 72 2F 廊下
- 73 庶務給湯室
- 74 会議室
- 75 学芸・普及
- 76 学芸相談室
- 77 学芸普及給湯室
- 78 暗室
- 79 暗室倉庫
- 80 スタジオ
- 81 仮収蔵庫
- 82 研究工作室
- 83 第1収蔵庫
- 84 第2収蔵庫
- 85 第3収蔵庫
- 86 第4収蔵庫
- 87 収蔵庫前室





---

---

千葉県立美術館年報No.44 平成29年度

平成30年9月30日発行

発行者 千葉県立美術館

〒 260-0024 千葉市中央区中央港1丁目10番1号

Tel. 043(242)8311

Fax. 043(241)7880

URL <http://www2.chiba-muse.or.jp/ART/>

---

---

みる ● ●  
かた る ■  
つくる ■